

部類別考鑑 1

鳥栖市誌資料編

第9集



鳥栖市誌資料編第9集

部類別考鑑
1



部類別考鑑 (本巻所収の5冊)



現在の田代町 (南上空から)

「御兩役之部」本文の一部

「附役中之部」本文の一部

「三組之部」本文の一部

刊行にあたって

市制50周年記念事業の一環として開始しました『鳥栖市誌』編纂事業は、「多様な生活と文化」「人・物・技術の交流と広がり」をテーマとして作業を進め、早や4年目を終わろうとしています。『鳥栖市誌』本編第1巻「自然地理編」と第2巻「原始・古代編」を刊行し、お陰様で好評を博しております。現時点では第3巻「中世・近世編」の刊行へ向けて作業を行っております。また、本編の刊行はもとより、地域の重要な資料・研究をまとめた「資料編」「研究編」の刊行も重要な編纂事業の方針です。

現在進めている編纂事業では、田代代官所に関連する文書類が、地元にも多く残されていることが判明し、一部は寄託もいただいております。「部別考鑑」は、田代新町の旧家の土蔵から平成13年末に発見され、寄託を受けたものです。16部類・28冊に分かれた半横帳の文書で、おそらく旧記類や代官所毎日記から事項を選び出し、部別にまとめたようです。この「部別考鑑1」では、これらのうちから3部類・5冊を掲載いたしております。

本書の刊行にあたりましては、これまで資料を保管し寄託もされた旧所蔵者にまず感謝を申し上げますとともに、校訂・監修を行っていただいた長忠生氏（鳥栖市誌執筆委員）、文書を読み下していただいた松田杉枝氏・池崎澄子氏（いずれも鳥栖郷土研究会）など、関係各位のご協力にお礼申し上げます。

今後とも『鳥栖市誌』本編はもちろんのこと、資料編・研究編の充実もはかってまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年3月

鳥栖市誌編纂委員長 米倉 利昭

目次

凡例

解題

1	御兩役之部 附御賄役之事(享保元年～天保七年)……………	7
2	御兩役之部 附御賄役之事(天保八年～慶応四年)……………	83
3	附役中諸考之部(享保元年～天保七年)……………	165
4	附役中諸考之部(天保八年～慶応三年)……………	285
5	三組之部 附浜崎使番・博多御扶持人・買物番之事(享保元年～天保四年)……………	505

附 図

凡例

- (一) 原文に読点(・)および並列点(・)を加えた。
- (二) レイアウトは、できるだけ原本に近い体裁としたかったが、敬意を表する改行は、原本どおりとはせず、一般的な一字分を空にして前に続けた。
- (三) 送り仮名・仮名遣いは原本どおりとした。
- (四) 用字については次のとおりにした。
 - ① 漢字は固有名詞も含めて常用漢字にあるものは新字体を用いた。但し、人名の「龍」は原文のとおりとした。
 - ② 瓜生野の「瓜」は田代領近世文書の多くには、専ら「爪」と記載されているが、本書原本も「爪」が終始誤用されており、「瓜」と正して用いた。同様に、祇園宮の「祇」は祇とあるため「祇」と改めた。但し、祐筆役は本来「祐」だが、原本に「佑」とあるものについてはそのままにした。
 - ③ 原本にある異体・異字・略体・近世文書常用・一般通用などの文字で原本どおりの文字を用いたのは左のとおりで、他は正字体に直した。

并 測 禄 曾 右(より)ノ(して)メ(貫)
 - ④ 変体仮名は平仮名に直したが、助詞の「**ち・は**」はそれぞれ真仮名の「者・江」とし、平仮名・片仮名の別については原本どおりとした。
 - ⑤ 原本記載の「候」を示す「**ト**」「**ハ**」は、すべて「候」に統一し、疊字「**トト**」は「**タ**」とした。
 - ⑥ 原本に誤用されている文字には、原則として初出のみに傍注を施した。なお、近世文書に多くみられる「儀」・「議」を意味する「義」も原本どおりとし、傍注は一々施さなかった。
- (五) 月日は部分的に順不同があるが、原本どおりとした。
- (六) 原本からの解説は松田杉枝氏・池崎澄子氏(いずれも鳥栖郷土研究会)が行い、校訂・解題については長忠生(鳥栖市誌執筆委員)が担当した。

解題

藩政終末当時、先祖が田代代官所に出仕していた旧家のうち数軒には、代官所にかかわる記録・文書類が所蔵され、その若干は研究者間には周知のことであったが、このたび田代新町の津田家から多量の記録・文書類が「発見」された。

その一つが「部類別考鑑」である。体裁はいずれも半横帳で、その数は28冊、これを16部類に仕分け、项目的・編年体に記載してある。これは領政に当たつての「鑑」として旧記録・文書中から抽出して代官所考鑑方が編纂したものである。編纂開始の時期は、「部類別考鑑」中「附役中諸考之部」文化13年（1816）3月8日の項に「村山東一郎、考鑑仕立方被仰付」と見えることから、この時期からであるとみてよからう。収載期間は享保元年（1716）に始まり、慶応3年（1867）もしくは同4年に終わるもので長期間に及んでいる。このように「鑑」として代官所掛役の編纂に成るものではあるが、田代領研究についての重要な好資料であるといえよう。

この「部類別考鑑」について、このたび解説・刊行したのは左の3部類5冊である。

「御両役之部 附御賄役之事」

・前編は享保元年から天保7年までを収載。横18・7縦12・2センチ、墨付221丁。

・後編は天保8年から慶応4年までを収載。横18・7縦12・3センチ、墨付191丁。の2冊。

「附役中諸考之部」

・前編は享保元年から天保7年までを収載。横18・5縦12・0センチ、墨付420丁。

・後編は天保8年から慶応3年までを収載。横18・5縦12・3センチ、墨付523丁。の2冊。

「三組之部 附浜崎使番・博多御扶持人・買物番之事」

・前編は享保元年から天保3年までを収載。横19・0縦12・3センチ、墨付109丁。

・後編は欠失。

附

これから、田代代官所の役々などについて若干の解説を試みたい。読解の一助ともなれば幸いである。

○対馬藩士分の「三格」

上士(馬廻・知行高70石以上)、中士(大小姓・俵取)、下士(徒士・扶持米取)。

○田代代官所の役々

「御両役」とは代官・副代官をいう。これに賄役を入れて「三役」となる。呼称身分は、代官(奥役・本役・馬廻)、副代官(佐役・大小姓)、賄役は徒士。ただし、副代官に馬廻の士が着任するか、在任中に馬廻に「立身」すれば表役といい、徒士の賄役が大小姓に立身すれば勘定調役と呼称が変わる。代官所三役はいずれも本国対馬から派遣される。任期は原則2か年で3年目には一応役目辞退願を出すか、勤め越しを命じられる者も珍しくない。反対に無調法があれば任期中でも罷免される。

「附役」とは代官所出仕の諸役をいう。扶持人・土格で役職を附けられている者という意味であろう。藩政初期には対馬から来ていたが、のち田代の領民中から登用されることになった。諸役それぞれの呼称ならびに役種は時代によつて異同がある。人数は複数である。諸役トップは手代役、最下級は玄関番である。それぞれ本役のほかには仮役があり試用が済み、多くは本役へと登用される。さらに助勤・見習・雇などの臨時役がある。諸役の任期も三役と同じようであるが、高齢・病気を理由に役目辞退を願ひ出る者が多い。ねらいの多くは嗣子を諸役に取立てて貰う願ひがこめられている。つまり、諸役は世襲が多かった。

諸役は左のとおり。(呼称ならびに役種は時代により加除と異同がある)

手代役・土地方吟味役・用銀掛・請払留役・祐筆役・書札方・東明館掛・考鑑方・破損掛(作事方)・諸職誘役・主法方・諸木仕立方・山方役・目付役・玄関番

「三組」は御門番・使番・小人をいう。苗字も公称できない足輕級の輕輩である。

御両役之部

享保元年より天保七年まで

御兩役之部

享保元申年

五月九日

- 一 御本役加城狩野之介殿御病氣ニ付、久留米町医内証ニ而御招之事

五月廿四日

- 一 狩野之介殿、上使屋へ御引移り之事

七月二日

- 一 狩野之介殿代り仁位孫右衛門殿、博多御着之事

七月八日

- 一 孫右衛門殿、御入込之事
- 一 加城狩之介殿御病死之事 火葬也
- 但、御交代已後之死去ニ候得共、物静兩日被仰出候事

七月十三日

- 一 御朱印御壁書之事
- 但、御役方痛所有之、手代役方拝読之事

七月廿一日

- 一 孫右衛門殿、久留米御勤之事

七月廿八日

- 一 孫右衛門殿、佐嘉御勤之事

九月五日

- 一 御賄役小宮重右衛門殿代重田恕右衛門殿、博多着之事
- 一 小宮重右衛門殿、出立之事

享保二酉年

七月廿四日

- 一 御佐役中島伝左衛門殿、長崎へ御越之事

- 但、町馬散使勘右衛門御奉行所方御召寄ニ付、御出之事

八月十一日

遣候と之事

八月十三日

- 一 御兩役方御移代、又者就御用御帰国等之節、町ニ掛間敷、三郷方
- 一 伝右衛門殿、御国元へ御越之事

- 一 巡見上使ニ付、孫右衛門殿久留米へ御越之事

十二月十六日

- 一 伝左衛門殿御事於御国御扶持御切米御加増被蒙 仰御祝詞之事

十二月廿二日

- 一 伝左衛門殿、御国方御帰着之事

正月五日

享保四亥年

一 孫右衛門殿下ノ関へ御出之筈ニ候処御止メ被成、御書付被仰渡之事

三月廿日

一 公義御尋者之義ニ付、御国方田中村右衛門殿被差渡、就夫伝左衛門殿御廻在之事

七月八日

一 伝左衛門殿、赤馬関へ御越之事

八月廿八日

一 孫右衛門殿代り幾度六右衛門殿ニ被仰付候御左右有之、御祝詞之事

十二月十九日

一 恕右衛門殿御親父病氣ニ付、中帰国之事

享保五子年

三月七日

一 孫右衛門殿、上使屋へ御引移之事

三月九日

一 幾度六右衛門殿、博多御着之事

但、此節黒田伊勢守様御逝去、御斎中故暫ク滞博之事

三月十二日

一 御本役幾度六右衛門殿、御入込之事

但、此節孫右衛門殿御痛、御出会無之事

一 就右、孫右衛門殿・伝左衛門殿・恕右衛門殿御使、白坂まで参候と之事

八月十九日

一 恕右衛門殿御親父病死ニ付、役々悔之事

八月廿二日

一 六右衛門殿、山拔及水入田御見分之事

九月六日

一 六右衛門殿御廻在、手代役乗馬郷方出候事

十月十五日

一 六右衛門殿御子息・御内儀御死去、悔之事

十二月一日

一 藪野新屋敷当年方高二入候ニ付、竿入御改として伝右衛門殿御出之事

十二月七日

一 六右衛門殿、武蔵御入湯之事

享保六丑年

二月廿二日

一 六右衛門殿御息女御瘡瘡御手重ク、今日附役中、於祇園社祈願之事

三月十一日

一 伝右衛門殿御用ニ付、御国へ御渡海之事

三月十四日

一 六右衛門殿御子息乙之介殿、御病死之事

三月十八日

一 六右衛門殿、御廻村之事

但、御領中之者長崎へ無切手八十人程参り居候由、從御国其前被仰越候、早々依而之事

四月三日

一 恕右衛門殿代り柴田吉左衛門殿、参着之事

〃

一 伝右衛門殿中御帰国中、六右衛門殿故障有之時、恕右衛門殿当

時伝右衛門殿跡役被仰付候事

一 右二付、役々御祝詞之事

閏七月廿六日

一 御佐役小茂田左平次殿、博多御着之事

同廿七日

一 重田恕右衛門殿、上使屋引移御祝詞之事

九月十七日

一 御用日御定被成候事

享保七寅年

正月廿六日

一 六右衛門殿御交代願度々ニ候得共、新役被仰付候而者御領中治

り間敷候間、当年中御勤越被仰付候事

正月廿九日

一 六右衛門殿御娘子武蔵へ御入湯、送迎之人馬郷方加勢差出候

ハ、昼飯料米式表可被遣由之処、申談之上御扶持人中并庄屋等方御加勢申候事

二月三日

一 六右衛門殿、武蔵へ御入湯之事

享保八卯年

正月元日

一 年始御盃、去年まで奥御寄会間ニ御出、御盃被下候得共、内証之

御祝詞故当年より御居間ニ而御盃之事

正月二日

一 奥御役方大庄屋中江御盃被下候節者、掛之手代役方老人ツ、召連レ出候事

但、重看手代役方遣之と有之

六月十八日

一 六右衛門殿、彦山へ御参詣之事

九月廿三日

一 左平治殿、園部村絵図為見分御出之事

但、人夫村方出候と有之

十二月十五日

一 去子年、六右衛門殿御在勤中、同年之夏山潮大變有之候処、段々御結構ニ被仰出、依之奥・表・賄三所へ薪差出度と三郷方願出候事
就右、御樽被成下候事

享保九辰年

二月六日

一 左平治殿御姉子於御国御死去、御悔之事

二月廿二日

一 左平治殿御息女、御死去之事

四月十三日

一 御賄方御国渡諸帳面清算、去年迄者表屋ニ而有之候得とも、当節

乃於御広間有之候事

六月七日

一 六右衛門殿伯母子於御国御死去、御悔之事

六月十九日

一 左平治殿代久和幸右衛門殿、被仰付候旨内証る申来候事

但、内証る之知らせニ付為惣代手代役壱人罷出、御祝詞申上候と

有之

八月十五日

一 六右衛門殿御家内御入湯送迎人馬之儀、郷方差出候様思召寄有

之、無礼物ニ者御請不被成と之事

九月十一日

一 左平治殿、大川筋御見分之事

但し、此節町方罷出候事

十月四日

一 久和幸右衛門殿、博多御着之事

十月十二日

一 奥御家頼与四右衛門、死候事

十月十五日

一 小茂田左平次殿、御出立之事

享保十巳年

三月廿二日

一 六右衛門殿、樋口弥五左衛門殿ニ被仰付、御祝詞之事

一 六右衛門殿、六ヶ年之間全御勤ニ付、御国御銀五拾枚拝領ニ付、御祝詞之事

三月廿三日

一 御代役相濟候節、御逢被成候儀前々無之候得とも、一礼とも被

仰達度、此節ハ御逢被成候と之事

但、役々へ御祝イ被仰付と有之

五月六日

一 六右衛門殿・幸右衛門殿、豆田井堰御見分之事

七月十三日

一 柴田吉右衛門殿代藤松領右衛門殿へ被仰付、御祝詞之事

七月廿五日

享保十一年

正月五日

一 六右衛門殿、朝鮮才判被蒙 仰御祝詞之事

八月十日

一 吉右衛門殿御立身之御左右有之、御祝詞之事

二月廿一日

一 六右衛門殿御交代前久留米之内御覽被成度、高良山御参詣之事

九月十八日

一 吉右衛門殿、上使屋へ引移之事

三月六日

一 樋口弥五左衛門殿、爰元御入込之事

九月廿日

一 藤松領右衛門殿、参着之事

四月六日

一 幾度六右衛門殿、御癸足之事

但、此節幸右衛門・吉右衛門殿、為御見送祇園前迄御出也

一 三郷残米、領右衛門殿へ引渡之事

四月十七日

〃

一 御出立三付、三郷村々百姓中両町之組頭、今町白坂之間二段々

罷出、御暇乞申上候事

八月廿五日

一 弥五左衛門殿御二男五三郎殿、御死去之事

但、此義者古来無之候得共、丑年以来御領中_方之願_二付何角御

心遣_イ、中古ノ御新法を御改被成候故之由也

享保十二年

〃、此節、内証_方緒方善左衛門博多迄罷出候事、已後_二例_二者不

正月二日

成由也

一 御蔵之内_二御米十三表御積_セ、御蔵開有之候事

九月廿五日

但、御充行之内_二而夫々御配当之事

一 弥五左衛門殿、久留米御勤之事

十月朔日

五月八日

一 幸右衛門殿子息留右衛門殿、参着之事

一 弥五左衛門殿、佐嘉御勤之事

一 弥五左衛門殿代六右衛門殿、又々被蒙 仰候御祝詞之事

享保十三申年

七月十一日

一 弥五左衛門殿、上使屋へ引移之事

七月十四日

一 弥五左衛門殿・幸右衛門殿、御本家へ御出、受礼之事

七月十四日

一 弥五左衛門殿、上使屋へ御直り候ニ付、走番老人ツ、上使屋へ相

詰居不申候而者御差問へ有之、其通被成度と之事

八月十八日

一 六右衛門殿御乗船之日取申来、御扶持人中弥五左衛門殿へ御悦

申上候事

九月五日

一 六右衛門殿博多御着、依御差函手代中_右老人・佑筆中_右老人博

多へ罷出候事

九月十一日

一 六右衛門殿、御着之事

但、例格木山口迄罷出候得共、御再役故白坂迄出テ、手代中御門

前迄出管を祇園社前へ出、御参詣有之候故社内迄罷出候と有之

一 御再役之儀故、為御祝詞罷出候面々、御盃被下候事

付り、格別之老人へ盃被下候と有之

九月十四日

一 御当役御交代之節、御預之乗馬飼料両度出候内新古御役_右一度

ツ、御払、博多厩礼之儀者、博多御役所払ニ成候様ニ、善衛より博多へ引合候と之事

九月十七日

一 弥五左衛門殿、御発駕為御見舞庄屋中罷出、御盃被成候事

サカツキ

一 御扶持・三組、右同断

九月十九日

一 樋口弥五左衛門殿、御発駕之事

十月十三日

一 六右衛門殿、久留米御勤之事

但、此節御道中二本道具と有之

一 六右衛門殿佐嘉御勤之儀、御再役之儀故、御用捨被成度と之儀、

申来候得共御越有之と之事

十二月十二日

一 願書之儀表へ差出、其後奥へ可差出、此後、幸右衛門殿御代り六

右衛門殿御引残之節者、六右衛門殿へ願書右之格ニ差出候様と

之事

十二月八日

一 御門_右方、御家来出入札御わたし被成候事

十二月十九日

一 丹後守様_右六右衛門殿御方へ御音物来ル、佐嘉御勤之節、御在江

戸故、此ノ如と之事

但、飛脚兩人へ鳥目廿足ツ、持夫式人へ廿足ツ、六右衛門殿

を被下候と之事

享保十四酉年

三月十一日

一 幸右衛門殿御子息、中戻り之事

〃

一 六右衛門殿御孫、半元服之事

但、在町役を御祝詞申上候事

五月九日

一 御兩役、田代村・神辺村麦作御見分として御出之事

六月朔日

一 幸右衛門殿代橋辺正左衛門殿、領右衛門代佐治平四郎殿、被仰

付候由御左右相達、御祝詞之事

閏九月十六日

一 領右衛門殿、上使屋へ引移り之事

〃廿三日

一 御賄役佐治平四郎殿、着之事

十月四日

一 領右衛門殿上使屋へ引移被居候處、長崎御奉行御下り前ニ付、御

屋敷三ノ間へ引移り之事

十月十一日

一 藤松領右衛門殿、出立之事

十月廿二日

一 幸右衛門殿、上使屋へ御引移之事

十月廿六日

一 表御役橋辺正左衛門殿、御参着之事

十二月二日

一 久和幸右衛門殿、御出立之事

享保十五戌年

正月元旦

一 正左衛門殿御痛ニ候得共、御扶持人中并兩町役御祝有之候事

正月二日

一 右同断ニ付、御藏開之節、御受ニ而扇子計被遣候事

一 右同断ニ付、大庄屋計御祝被仰付之事

二月四日

一 爰元御牽馬來候事

但、為口捕小人老人被差出候事

一 上使用之木具膳、來候事

二月七日

一 右馬之儀、馬医藤八へ被成下候事

四月十三日

一 正左衛門殿御病氣ニ有之、御役御断被仰上、為代関野新八殿被蒙

仰、御祝詞之事

四月廿四日

一 橋辺正左衛門殿、御発駕之事

但、去年十月廿六日方御在勤也

六月朔日

一 関野新八殿、博多御着之事

九月二日

一 新八殿、村廻り之事

但、乗馬郷方出候と有之

九月廿三日

一 六右衛門殿代平田所左衛門殿、被仰蒙、御祝詞之事

但、御再役故、不□御逢被成候事

十月廿七日

一 六右衛門殿御事、今二三ヶ年御逗留之儀、在町方願出候事

十二月廿八日

一 右願及延引候付、御叶不被成と之儀御左右有之、表方被仰達之

事

享保十六亥年

正月元日

一 年始礼式其外之儀とも御中陰之内故、一切相止候と之事

二月五日

一 新八殿、武雄御入湯之事

二月七日

一 六右衛門殿、近々上使屋御引移二付、御国御目付上町平右衛門方

へ御移候事

二月廿日

一 六右衛門殿、御引移之事

但、御再役目出度御移被成候由にて、御扶持人中及諸役々々との

事

三月二日

一 佐治平四郎殿御舍弟、於御国御死去二付、御悔之事

四月十日

一 平田所左衛門殿、博多御着之事

四月十四日

一 御賄佐治平四郎殿御交代願有之、庄屋百姓中方御逗留之儀願出

候二付、六右衛門殿御存寄之趣、手代中を以被仰付候事

四月十五日

一 所左衛門殿、爰元御着之事

但、此節、六右衛門殿裏付上下御着、新八殿・平四郎殿羽織袴御

着後裏付上下二御改有之と之事

四月廿日

一 御朱印、御披露之事

但、御賄平四郎殿病氣二付、手代中方拜読之事

四月廿五日

- 一 幾度六右衛門殿、御発足之事
 - 一 在町百姓中御募申為御見送、所々へ罷出候事
 - 四月廿八日
 - 一 平四郎殿、川御普請見分見分之事(マタ)
 - 五月十一日
 - 一 所左衛門殿、佐嘉御勤之事
 - 但、旅籠差引目録記有之候事
 - 五月十四日
 - 一 平四郎殿代春田十兵衛殿、被仰付候由、御祝詞之事
 - 五月十五日
 - 一 平四郎殿御老母病氣ニ付、跡役不被待請帰国ニ付、手代役善左衛門役方存知居候故引請、十兵衛殿着之上、夫々引渡等心遣候様と之事
 - 六月八日
 - 一 宿繼御状之儀、町役方奥ばかりニ以書付御案内申上来候得共、向後表へも口上ニ而奥之歸掛ニ申上候得と之事
 - 六月廿日
 - 一 殿様御初入ニ付、新八殿下ノ関御越、御手当之事
 - 七月朔日
 - 一 平四郎殿、上使屋引移之事
 - 七月四日
 - 一 御賄春田十兵衛殿、参着之事
-
- 七月五日
 - 一 御賄方御算用仕込有之、手代中者不被罷出候と有之事
 - 八月二日
 - 一 佐治平四郎殿、発足之事
 - 九月廿四日
 - 一 御勘定所方十兵衛殿方へ、御貢米拵方鹿末ニ有之候段、申来候事
- 享保十七子年
- 四月三日
 - 一 御城山御出火、奥御留主家御類焼有之、御見廻之事
 - 閏五月朔日
 - 一 朝鮮表飢饉ニ付、爰元備米之内千五百表御取寄被成度と之儀ニ付、手代中存寄御衆議被成候事
 - 七月十八日
 - 一 奥御預り馬、死候事
 - 八月廿六日
 - 一 早粟鬪当り村相見分、表御役御出浮之事
 - 九月朔日
 - 一 早稻種付為見分同断之事
 - 十一月廿八日
 - 一 表御役、明日方大村へ御越ニ付、手配之事
 - 但、唐津方大村へ之宿ニ道法記有之

享保十八丑年

正月十一日

- 一 公義御廻米式千表御調、所左衛門殿大村へ御越、御買被成候様御差函ニ付、御手配り之事

正月十五日

- 一 例年之通、御壁書御読聞セ被成、此節所左衛門殿唐津へ御越、新八殿御出席之事

正月十九日

- 一 所左衛門殿、唐津へ御歸之事

正月廿四日

- 一 公米支配与力衆より飢人・餓死人・斃牛馬書付、被差越候様申来、所左衛門殿大村へ御越之事

正月廿六日

- 一 御預馬、御国へ被差渡候事

三月十四日

- 一 所左衛門殿、公米御買請之儀ニ付、柳川表へ御越之事

但、右ニ付、手代役方も相附候処、上下ニ而勤候様被仰付候故、段々次第申上、御当役御廻り御越し候様申上候事

三月廿二日

- 一 所左衛門殿、柳川へ歸り之事

三月廿九日

- 一 十兵衛殿事、博多役富衛殿死去跡御算用方為改被罷越、馬老正

渡候を、手前へ安駄夫雇被罷出候と之事

四月五日

- 一 所左衛門殿、公米為請取大村へ御越、手配り之事
- 一 右ニ付、与力衆へ杉重等被遣筈ニ付、御持越之品付記有之事

四月七日

- 一 殿様御初入之節、役々下ノ関へ罷出候御沙汰之事

四月十日

- 一 村々田之□残居候由にて、様子見分として御両所御出之事

四月十四日

- 一 所左衛門殿、大村へ御発足之事

四月十六日

- 一 殿様御初入、此節公米御請取等有之候ニ付、表より御勤可成候歟、賄役御勤可有候歟之御用意之事

但、元録(元禄)六酉年御初入之節、久和弥五左衛門殿下ノ関へ御越

〃、元録十五午年賀島権八殿御国へ御越、跡御賄役中島伝左衛門

殿御越

〃、享保十六亥年奥御役ハ他方御越者無用之由御差函、関野新八殿御越之節、役々へ献上之品付有之、可考

四月廿二日

- 一 所左衛門殿御歸着之程相分不申候ニ付、賄役十兵衛殿下ノ関へ御越、其外役々出立之事

四月廿八日

一 所左衛門殿、大村^〆歸着之事

七月四日

一 食用難儀^〆之故、為御見分新八殿御出之事

十二月朔日

一 奧御牽馬癖^七有之、在方馬御借用之事

享保十九寅年

正月廿六日

一 宗門御改有之、所左衛門殿御病氣、新八殿御老^人御出、御濟^〆被

成候事

四月廿三日

一 所左衛門殿代加城六之進殿、表新八殿代江口伝左衛門殿被仰蒙、

御祝詞之事

五月十日

一 加城六之進殿、博多御着船之事

但、佑筆中以上罷出、御挨拶申上候事

五月十一日

一 所左衛門殿、上使屋御引移之事

五月十九日

一 平田所左衛門殿、御発足之事

六月二日

一 六之進殿、明日久留米御勤有之筈^二候処、下毛村洪水^二付、御延

引町奉行方へ御通達

尤、此儀、町役^〆宮地別当方へ頼遣し候事

六月十日

一 新八殿、上使屋引移之事

六月十六日

一 江口伝左衛門殿、博多着之事

六月廿五日

一 六之進殿、久留米御勤之事

六月廿六日

一 新八殿明日発足^二付、大小庄屋中、今晚見廻候様申触候事

但、跡方有無之儀^二不拘氣付候様、申触^二有之也

六月廿七日

一 関野新八殿、御発足之事

六月廿九日

一 六之進殿、佐嘉御勤之事

七月朔日

一 六之進殿佐嘉御留主、表御役并御賄役御寄会之間^二、御出席之

事

九月晦日

一 伝左衛門殿御子息正助殿、病死之事

但、二日物静也

十月廿三日

一 春田代島江儀右衛門殿被仰付、御悦之事

享保二十年
(卯辰)

閏三月廿日

一 御賄役島江儀右衛門殿、博多着之事

但、此節荷積り之儀、可被差越哉之旨申来有之、先例無之、尤、

平四郎殿越之節、小人貞介飛脚と参り居、被差留滞留之中者、手

前る賄被申候得と有之定三而、小人ニも罷出候様無之故、此節も

不被差出候事

閏三月廿一日

一 十兵衛殿、上使屋引移り之事

五月二日

一 春田十兵衛殿、癸足之事

六月十七日

一 伝左衛門殿の山方下横目へ、御差凶之事

但、下モ村へ罷出、水入田植次植直し□知仕り候様被仰付候事

七月八日

一 六之進殿御家来、欠ケ落之事

七月廿八日

一 伝左衛門殿、赤江口の下野村上辺迄、大川内普請之次第御見分
之事

九月廿七日

一 御国御左右有之、妻子引越旅勤之御方、交代已後上船迄之定日

被仰出、定日迄無扱儀ニて及逗留候ハ、自分之御償ニ被仰付と
之事

但、御当役・佐役・賄役、日数十五日

尤、京都・博多等之処ハ略之、田代・博多・勝本・京都・長崎ハ妻子

御引越御免之事

十二月十日

一 六之進殿、御役御交代御願之通被蒙 仰、御代吉川内蔵之允殿

被仰付、御祝詞之事

十二月廿一日

一 六之進殿御交代被蒙仰候処、大川筋之懇談相整候迄、御在勤被

下候様、三郷大庄屋中の以連名申出候事

元文元辰年

四月廿三日

一 六之進殿代吉川内蔵允殿、御着船之事

四月廿四日

一 六之進殿、上使屋御引移之事

五月八日

一 加城六之進殿、御癸足之事

六月十九日

一 内蔵之允殿、久留米御勤之事

六月廿一日

一 村々田^ニ虫入、表御役為御見分、御廻村之事

七月廿日

一 内藏之允殿、佐嘉御勤之事

八月廿三日

一 表^方田作勢為見分、御出之事

九月朔日

一 内藏之允殿御子息本馬殿、長崎御使者御勤被成候様、被仰越候事

一 右^ニ付、御扶持人中、御祝詞之事

九月四日

一 本馬殿、長崎御使者^ニ御出立、御見送之事

九月十五日

一 本馬殿、長崎^方御暇、御扶持人中御門迄、御出迎^ニ罷出候事

九月廿五日

一 伝左衛門殿御子息源吾殿、爰元^へ御越、詰合之御扶持人中、御祝

詞之事

十二月廿日

一 伝左衛門殿御母公御病死之由、御左右有之、御悔之事

正月廿三日

元文二巳年

三月十日

一 島江儀右衛門殿代小田与七左衛門殿、被仰付候付、祝詞之事

四月朔日

一 内藏之允殿御夫婦、高良山參詣、御扶持中人御見舞申上候事

四月卅日

一 伝左衛門殿嫡子、御渡海之事

七月五日

一 御賄役小田与七左衛門殿、博多着船之事

七月六日

一 儀右衛門殿、上使屋引移之事

八月五日

一 島江儀右衛門殿、出立之事

// 廿七日

一 伝左衛門殿、酒井辺迄之田之様子、為御見分御出之事

但、御乘馬也

閏十一月廿一日

一 内藏之允殿御嫡本馬殿、御病死之事

元文三年

正月廿三日

来、御祝詞之事

正月廿九日

一 伝左衛門殿、御立身之御左右御達^ニ付、役々御祝詞之事

一 就右、百姓中惣代、二大庄屋居付之組頭參人ツ、罷出、式本人扇子
差上、御祝詞申上候事

附、鳥目被下候事

二月十七日

一 内蔵之允殿、川御普請所御見分之事

二月廿四日

一 伝左衛門殿御伯母御死去、二付、御悔之事

五月十日

一 伝左衛門殿、孫子家督相統之御左右有之、御祝詞之事

五月廿一日

一 都堤、垣副堤裏落有之、伝左衛門殿、其外役、二見分、二罷出候事

五月廿四日

一 牛飼土手見分として、奥御出張り之事

五月廿五日

一 伝左衛門殿御息女、病死之事

但、物静有之

五月卅日

一 伝左衛門殿孫子、病氣御勝レ不被成、尤伝左衛門殿御忌中、二付、

奥御役迄御書付被差出、奥御役より御跡式之儀、御組頭中へ委細

被仰越候事

六月朔日

一 表孫子久和源八殿、御病死之事

但、七歳未滿、二付、物静、二不及と之事

八月朔日

一 孟蘭盆、二者御両所御不快、二付、今日役々へ御壁書御読聞セ有之候

事

八月廿二日

一 内蔵允殿、宰府参詣之事

九月十四日

一 伝左衛門殿、御願之通御交代蒙 仰、跡役吉村十左衛門殿被蒙

仰、御祝詞之事

元文四年末年

三月十八日

一 伝左衛門殿御子息源五殿御帰り、役々町口迄罷出候事

三月廿九日

一 伝左衛門殿、上使屋へ御引移り之事

但、跡家番之義、委細記有之

四月十四日

一 吉村十左衛門殿、博多御着之事

〃

一 奥御役、彦山へ御参り之事

四月廿五日

一 江口伝左衛門殿、出立之事

但、御同人控御頼ニ而、御立跡ト上使屋にて、御跡祝イ之事

四月廿六日

- 一 表御役之儀、副役と唱へ候由、向後古来之通佐役ト唱へ候様、被仰越候事

〃

- 一 表御役、鑓リ御持せ被成候儀、是又古来之通と之儀、被仰越候事

六月廿日

- 一 内蔵允殿、洪水為御見分、馬にて御出之事

但、馬口捕・挾箱持、町夫より御雇也

- 一 十左衛門、かこにて右同断

- 一 与七左衛門殿、歩行にて右同断

七月廿六日

- 一 奥御役御舍弟、於御国御病死、役々御悔申上候事

八月八日

- 一 内蔵允殿御勤越之儀、在町一統る願出候事

九月十二日

- 一 与七左衛門殿、竜紋ニ反拝領之事

但、御借上ケ銀働ニ付

十月二日

- 一 表御子息方兵術御稽古、筑前弁左衛門御呼被成候事

十月五日

- 一 内蔵允殿代内野権兵衛殿江被蒙仰、御祝詞之事

但、前方ハ御寄会之間にて候処、於御広間御受被成候事

〃、右之節役々御口上之趣、且又御定之次第委細しるし有之

十二月六日

- 一 奥御従弟藤馬殿、於江戸御病死御悔之事

元文五申年

三月十五日

- 一 御本役内野権兵衛殿、博多御着之事

三月六日

- 一 内蔵允殿、上使屋引移之事

此節、表御役中、門之外迄御出也

四月三日

- 一 権兵衛殿、御家来中御示し儀、被仰渡候事

四月四日

- 一 吉川内蔵允殿、御発駕之事

四月十六日

- 一 権兵衛殿、久留米御勤之事

四月廿五日

- 一 御同人佐嘉御勤之節、はこニ馬飼料等巨細しるし有之事

四月廿六日

- 一 権兵衛殿、佐嘉御勤御留主表る為御見舞御玄関迄御出、火用心之儀被仰候事

一 夜二入、御扶持人中奥へ御見廻仕候事

六月廿七日

一 御領中之角力取、奥へ被召寄土表入御覽被成、其後子供角力御取
せ被成候事

十月廿二日

一 河内村之内谷々分ヶ杉相分ヶ候付、佐役御見分として御出之事

十二月朔日

一 火事之節御佐役御出之刻、大御門開候様被仰候事

寛保元酉年

三月八日

一 十左衛門殿、武蔵御入湯之事

但、御扶持人中八、祇園社前、同子供中八町口迄、三郷大庄屋中

両役も町口迄、御見送りニ罷出候事

三月十六日

一 十左衛門御家内御入湯ニ付、御扶持人中御門前迄罷出候事

但、袴着不及

八月十六日

一 権兵衛殿御母公、於御国御死去、御悔之事

十月朔日

一 十左衛門殿御勤越之儀被仰越、御祝詞之事

十月廿八日

一 十左衛門殿、檜木植立山見分として御出之事

寛保二戌年

正月十四日

一 表役十左衛門殿御奥御内室之御親父、於御国病死之御左右有之、
御悔之事

四月三日

一 御両役名判并御身上極合、轟木町役合聞合候事

四月七日

一 奥御孫子、於御国御出生後、扶持人中・田代町役中八御祝詞申上
候事

但、御出入之医師も罷出候事

四月十二日

一 河内村長葉山へ為猪狩、表御役合御出之事

六月廿二日

一 古川図書殿江府合御下ニ付、十左衛門殿爰元御用筋為御伺、赤馬
関迄御越之事

附、郷夫之次第記有之

七月二日

一 右ニ付、御見舞之品差越候、御評議之事

七月十五日

一 十左衛門殿、赤馬関合御歸之事

九月十二日

- 一 権兵衛殿大宰府へ御参詣、御帰之節御扶持人中、御祝詞申上候事
九月廿八日

- 一 十左衛門殿、武蔵御湯治之事

寛保三亥年

二月十五日

- 一 権兵衛殿、御代御左右有之、役々御祝詞之事

但、三組中御内証にて御祝詞之事

二月十七日

- 一 右御左右二付、御礼席ニ罷出候面々御玄関迄罷出、帳面ニしるし

出掛りニ御祝詞申上候事

四月十五日

- 一 十左衛門殿并御賄役、明十六日乃榎津へ御出之事

但、播州坂越船ニ御貢米積来候処為御試、榎津船ニ五ヶ年之間御

借替被成候ニ付而之事

四月廿三日

- 一 権兵衛殿、為入湯武蔵御出之事

四月廿二日

- 一 御両所、大川筋為見分御出之事

五月廿一日

- 一 十左衛門殿御子息郡左衛門殿、御夫婦中帰国之事

九月二十六日

- 一 十左衛門殿内方甥子、御死去之御左右有之、役々御悔之事

十月九日

- 一 権兵衛殿、上使屋御引移り之事

十月廿五日

- 一 奥御役浜田伊左衛門殿、御着之事

十一月六日

- 一 内野権兵衛殿、爰元御発駕之事

十一月廿二日

- 一 伊左衛門殿、久留米御勤之事

延享元子年

二月八日

- 一 伊左衛門殿、大川筋御見分御越之事

六月三日

- 一 与七左衛門殿、上使屋引移之事

六月十二日

- 一 十左衛門殿御内室并御息、御帰国之事

七月廿二日

- 一 御賄役永瀬伝兵衛殿、着之事

延享二丑年

十月廿五日

一 十左衛門殿千栗へ御参詣、大川筋御見分之事

十一月七日

一 伝兵衛殿、博多役古川権右衛門殿死去、御算用為改出博之事

延享三寅年

二月朔日

一 伝兵衛殿、上使屋へ引移之事

二月十七日

一 御賄役佐伯文左衛門殿、博多参着之事

三月十五日

一 永瀬伝兵衛殿、出立之事

三月廿二日

一 伊左衛門并文右衛門殿、大川筋御見分之事

三月廿六日

一 十左衛門殿、彦山御参詣之事

四月十九日

一 奥御役島雄八左衛門殿、博多御着船之事

四月廿四日

一 同三日爰許御入込之事

五月朔日

一 浜田伊左衛門殿御発駕之事

五月五日

一 十左衛門殿御病中故、今日御祝詞御逢無之、一对一之者座位之

上下手代中より其訳申達之事

五月十八日

一 御預馬老馬ニ成り候付、御求替被成候事

七月廿二日

一 十左衛門殿御祖母於国御死去、尤継祖母ニ付、御扶持人中斗御挨

拶申上候事

九月廿六日

一 八左衛門殿御事裁判役被蒙仰、爰元御代之御左右有之、御祝詞之事

八月十三日

一 八左衛門殿、久留米へ御勤之事

十月十日

一 同大川見分として御出之事

委細記有之

十一月九日

一 判付米ニ付、御佐役へも御出之事

十一月十七日

一 表十左衛門殿代、七五三左衛門殿被仰付、御祝詞之事

延享四卯年

正月廿一日

一 十左衛門殿、上使屋へ引移り之事

二月廿五日

一 八左衛門殿、千栗へ御参詣之事

三月四日

一 御佐役七五三、左衛門殿、御着之事

但、御料理之節座位之事

三月八日

一 初而御出会ニ付、羽織袴御着手代中同断

三月十日

一 吉村十左衛門殿、御出立之事

四月二日

一 左衛門殿、大川御見分之事

五月十七日

一 御両所、田根付御見分之事

七月朔日

一 奥御代平田又左衛門殿ニ被仰付御左右相達、手代中奥へ御挨拶之事

九月四日

一 平田直右衛門殿博多入着被成、御賄文右衛門殿為御見廻、博多被罷出候事

十一月七日

一 八左衛門殿、上使屋へ御引移之事

十二月十二日

一 奥御役平田又左衛門殿、御入込之事

十二月十七日

一 島雄八左衛門殿、御発駕之事

寛延元也

延享五辰年

三月七日

一 赤川村畠田御見分之事

但、表者駕籠、賄役及手代中は馬ニて、罷出候事

三月十八日

一 又左衛門殿、久留米御勤之面々へ銀米被成下候事

三月廿七日

一 同佐嘉御勤之事

七月五日

一 殿様下向之節、御賄役下ノ関へ被罷出候様被仰付置候処、病氣ニ付御佐役ノ庄屋・町役被召連御出関之事

七月九日

一 信使下向ニ付、左衛門殿下ノ関御越之事
七月十四日

一 孟蘭盆御礼本右衛門殿御留主ニ付、夫々列座之上、手代中ニ致挨拶候事

九月十五日

一 本右衛門殿御代之御左右有之、役々御祝詞之事

一 御佐役之義、是迄者大小姓衆ニ被召仕来候得共、此節者御郡方佐役ニ移代被相勤候様ト之御事被仰越候事

十月廿六日

一 又左衛門殿、佐嘉へ御越之事

但、大川筋荒籠一件証文取替相濟ニ付而之事

閏十月四日

一 同断、久留米へ御越之事

十一月二日

一 本右衛門殿来春御交代之義ニ候処、秋代リニ被仰付、手代中斗り

表へ御祝詞申上候事

寛延二巳年

正月十二日

一 奥御内室平産之事

正月廿一日

一 又左衛門殿代平田所左衛門殿へ被仰付候ト之事ニて、役々御祝詞之事

二月十六日

一 御両所御子方、英彦山へ参詣之事
但、御迎人馬等為考記之

二月廿五日

一 御両所、高良山善導寺御参詣之事

御供町雇也

三月八日

一 又左衛門殿、彦山へ御参詣之事

触状記有之

四月朔日

一 表御内、清水へ御参り之事

四月廿五日

一 御賄文右衛門殿就御用、中帰国之事

五月七日

一 表御子息助右衛門殿御内御平産、役々御祝詞之事

六月十日

一 文右衛門殿、帰着之事

六月十八日

一 同坂越へ御越之事

八月廿四日

一 同坂越ニ帰郷之事

九月十二日

一 御両所、大川筋見分之事

九月廿四日

一 表役橋倉紋左衛門殿、博多御着之事

但、上使屋間候付、博多へ暫御逗留之事

十月朔日

一 橋倉紋左衛門殿御着之事

十月八日

一 七五三左衛門殿、御出立之事

寛延三年

四月十七日

一 御賄役旅行二付、御藏封之紙表御役^方被遣候事

四月廿一日

一 又左衛門殿、上使屋御引移之事

四月廿一日

一 御本役平田所左衛門殿、御着之事

五月三日

一 又左衛門殿、御発駕之事

八月廿五日

一 所左衛門殿、久留米御勤之事

一 文右衛門殿御立身二付、役々御祝詞之事

十月廿二日

一 所左衛門殿、佐嘉へ御勤之事

十一月十七日

一 長崎役斎藤太左衛門殿国許へ被召寄、御跡役御越之間紋左衛

門殿御越被成候様被仰越、今日御出立之事

十一月廿七日

一 奥御内御平産、役々御祝詞之事

十二月六日

一 紋左衛門殿、長崎へ帰郷之事

十二月八日

一 奥此間御出生之御娘子、御死去之事

宝曆元年

正月八日

一 賄御役文右衛門殿就御用、京都へ被罷登候事

二月晦日

一 賄御役内儀之親父、於御国死去之事

四月十四日

一 紋左衛門殿、英彦山参詣之事

四月十六日

一 奥御家内、高良山善導寺御参り之事

六月廿七日

一 文左衛門殿、京都へ帰郷之事

十月四日

一 文右衛門殿、大阪へ被罷登候事

十一月廿三日

一 奥御内、御平産之事

宝曆二申年

正月二日

一 御蔵開封有之、御賄役旅行ニ候得共御恒例之儀、以扇子ハ被備候事

三月廿日

一 紋左衛門殿・文右衛門殿、御勤越願之事

三月廿三日

一 紋左衛門殿、武蔵御入湯之事

四月廿二日

一 奥、彦山へ御参詣之事

五月八日

一 文右衛門殿、上使屋へ引移之事

五月十一日

一 御賄役吉野重三郎殿、着之事

七月十七日

一 文右衛門殿是迄上使屋ニ被居候処、近々筑前守様御通りニ付、御本家御寄会間方御台所迄被用候事

十月十四日

一 佐伯文右衛門殿、出立之事

十一月七日

一 御佐役紋左衛門殿、上使屋御引移り之事

十一月十一日

一 奥御内、御平産之事

十一月廿三日

一 所左衛門代三浦内蔵允殿ニ被仰付、御祝詞之事

宝曆三酉年

正月元日

一 御賄方重三郎殿方年始之規式相止ニ、奥表より門札計り被仰伸候事

正月二日

一 於御賄方、大庄屋中へ祝有之来候処、当年方相止之候事

正月十六日

一 紋左衛門殿上使屋へ御引移りニ相成居候処、阿蘭（電）だ人近々止宿ニ付、暫ク御屋敷ニ引移り之事

二月三日

一 神辺村真五銅山、御見分之事

宝曆四戌年

正月十一日

一 奥御内、御平産之事

四月朔日

一 筑後騒動ニ付、表御役村廻り之事

四月廿九日

一 紋左衛門殿、上使屋引移り之事

五月十六日

一 紋左衛門殿御母儀、於御国御病死之事

五月廿八日

一 御佐役高松宇左衛門殿、御着之事

六月七日

一 橋倉紋左衛門殿、御発足之事

六月廿七日

一 宇左衛門殿、初而御仏詣之事

但、鍵御持^せ被成候儀御尋ニ付、七五三丕右衛門殿・橋倉紋左衛門殿御持^せ不被成日記有之事

七月九日

一 表御二男順三郎殿、御病死之事

九月廿一日

一 平田将監様御息安助殿すくニ御越ニ付、奥より為御見舞御出之事

宝曆五亥年

三月十四日

一 所左衛門殿、上使屋御引移之事

三月十八日

一 奥御役三浦内蔵允殿、爰元御着之事

但、此節者福岡勤ハ無之也

四月十六日

一 内蔵允殿、久留米御勤メ之事

四月廿六日

一 同佐嘉へ御勤之事

七月十四御□

一 奥御役御病氣ニ付、以帳面申上候事

八月二日

一 内蔵允殿病氣御勝レ不被成候事

八月八日

一 内蔵允殿御病氣段々被差重、御死去之事

八月九日

一 内蔵允殿御死去ニ付御跡役之儀、御嫡子衛守殿ニ被仰付被下候様、御扶持人中并在町役^方願書差出候事

八月廿九日

一 三浦衛守殿御事、御亡父御跡^方役被蒙仰候事

九月廿四日

一 宇左衛門殿御袋御病死之御左右、御悔之事
十二月廿三日

一 宇左衛門殿御息女、於御国御病死之事

宝曆六子年

二月十日

一 奥伯母様、御死去之御左右有之候事

三月十三日

一 表御舅左衛門殿御内、御死去之御左右有之、御扶持人中并田

代町役中計り御悔申上候事

六月六日

一 日田岡田九郎右衛門様御手代中より飛札、御当役御老人御越

被成候様、申来候事

六月八日

一 宇左衛門殿、日田へ御越之事

八月十八日

一 宇左衛門殿、日田へ御越之事

十月四日

一 奥衛守殿、痛田見分として郷方へ御出之事

十月廿六日

一 表御役御痛之節、御賄役御使者罷相勤候節、上下三人之御差

之事

宝曆七丑年

三月十九日

一 衛守殿、御廻村之事

三月廿二日

一 衛守殿代小川又三郎殿、御越之御左右有之候事

〃

一 宇左衛門代小田儀左衛門殿御越之儀、申来候事

就、右役々御祝詞之事

三郷大庄屋中へ、出掛ニ御帳面ニしるし候事

四月二日

一 宇左衛門、大川御見分之事

五月十七日

一 小川又三郎殿・小田儀左衛門殿、勝本御着之由申来候事

五月廿日

一 三浦衛守殿、上使屋へ御引移り之事

同日

一 宇左衛門殿、上町福田屋茂四郎方へ御引移り之事

五月廿三日

一 御佐役小田儀左衛門殿、着之事

五月廿八日

一 奥御役小川又三郎殿御着之事

六月朔日

一 今日之御祝詞、小川未々御役御引受無之候付、衛守殿御本家へ御

出、御列座之上御請被成候事

一 御佐役方同断、宇左衛門殿・次儀左衛門殿、御祝詞申上候事

六月三日

一 又三郎殿・儀左衛門殿、御着之御祝詞之事

六月九日

一 三浦衛守殿、御発駕之事

六月十八日

一 宇左衛門殿、茂四郎方へ今日上使屋へ御引移り之事

六月十九日

一 高松宇左衛門殿、御発足之事

九月二日

一 又三郎殿、久留米御勤之事

九月廿七日

一 奥御妹子、御帰国之事

十月十五日

一 当年御米初而御仕出有之、尤此節上方御廻米ニ付、奥表御出無之

事

十一月八日

一 又三郎殿、佐嘉御勤之事

十二月廿五日

一 奥より御家来中之儀ニ付、委細被仰渡之事

宝曆八寅年

正月十日

一 御賄方、御役所十日印請候事

正月十七日

一 御両所、御家来示方之儀ニ付、町役及三組中へ被仰渡之事

正月廿日

一 重三郎殿、上使屋御引移之事

三月十日

一 重三郎殿代島村弥次衛門、明日爰元入込ニ付、かんはん之儀申来候得共、先極無之不被遣候事

三月十一日

一 御賄役島村弥次衛門殿、着之事

一 御賄役着之節、御賄役へ対し候而御門開候而者無之候へ共、荷付

馬通り候付、開候と有之候事

三月十八日

一 弥次左衛門殿、着之悦之事

四月九日

一 御預馬取御替ニ付、馬御^(替方)□へ之事

四月九日

一 重三郎殿内室、昨夜死去之事

四月十六日

一 重三郎殿忌御免之事

一 重三郎殿、町宿良介方へ引移之事

四月廿三日

一 儀左衛門殿御袋、於御国元御病死之事

五月三日

一 表御役忌御赦免之事

五月五日

一 端午之御礼、表者御病中故以帳面申上、取次之手代中の方々へ其
訳相達之事

五月九日

一 表御家来、近山にて薪を取候由にて、委細被仰渡有之、札御渡被
成候事

六月四日

一 弥次衛門殿使者、かこ二乗り若党被召連候付、折渡之事

七月朔日

一 儀左衛門殿家来勘六、近山にて木を伐り候付、如御国元被差返候
儀、委細記有之事

〃

一 奥御家来富右衛門儀、大庄屋治兵衛へ米を借候付而、奥方御返し
被下候越之事

七月七日

一 表御内室、平産之事

七月廿日

一 弥次左衛門殿家来、小土穴二而魚を取候付、御吟味之事

七月廿四日

一 御牽馬老馬二相成御用不立候付、馬医藤八へ被下候事

八月晦日

一 重三郎殿、次男病死之事

九月朔日

一 重三郎殿、病死之事
右二付、御算用張箱合印之事

九月十日

一 応助殿妹子、昨日病死之事

九月十二日

一 応助殿、上町賀右衛門方へ御引移之事

九月廿二日

一 奥御家内、宰府へ御参り之事

十月朔日

一 御広間庭西二有之大松木、伐し候事

十月廿一日

一 古御賄役重三郎殿仕立之御算用帳、悴応助殿を新役島村弥次左
衛門へ引渡之事

十一月十六日

一 御年貢津出之節、御賄役を走番被召連候付而之訳之事

右二付、安駄夫増賃銀之事

十二月十七日

一 弥次衛門殿水屋勤之節、走番被召連候付折渡之事

十二月廿七日

一 奥御牽馬御入用之節御雇二付、銀貳兩ツ、被仰付候事

宝曆九卯年

三月十六日

一 奥表御勤越被蒙仰候付、御扶持人中以取次御祝詞申上候事

但、先規無之候得共御主法御改二付、郷村^ノ願出候訳二有之候処
^ノ此節御祝詞申上候と之儀、記有之事

三月廿日

一 重三郎殿就死去、上使賄料其外被成下銀相滞、去丑七日兩町役

^ノ願出達候処、新役弥次左衛門殿^ノ請取候様、被仰渡候事

三月廿四日

一 重三郎殿息応介殿帰国二付、人馬郷方^ノ差出候事

三月廿八日

一 吉野応介殿、出立之事

四月廿六日

一 村々獵師鉄炮改帳段々差出、都合拾老冊御兩所御見届之事

五月朔日

一 奥御役御痛二付、表二而御寄会、御用向御聞被成候事

七月廿三日

一 御主法已来被称勤劳、奥へ拾俵、表へ九俵御拝領之事

一 右二付、御扶持人中并町役中、御台所^ノ御祝詞申上候事

閏七月三日

一 儀左衛門殿御米拝領二付、表二而御祝之事

閏七月廿五日

一 儀左衛門殿、下毛村田作為見分、御出之事

但、御乘馬人足等、賃銀御雇也

十二月九日

一 儀左衛門殿、神辺村櫛御仕立之場、姫方村御用數見分として御
出之事

十二月十二日

一 奥御牽馬御求無之、御入用之度二藏上村文右衛門二作馬御借り

被成、都合六日銀參兩被成下候事

六月八日

一 御兩所并御賄役御米御拝領之事

宝曆十年辰年

七月二日

一 儀左衛門殿、下村水入田為御見分、御出之事

但、馬合羽持夫八御雇也

七月五日

一 右同断

七月廿日

一 又三郎殿就御病氣、久留米醫師堀江道玄御招之事

八月朔日

一 又三郎殿就御病氣、御用筋一切表へ申上候様被仰付候事

八月五日

一 又三郎殿御病氣被差重、三郷大小庄屋中、於惣社祈願之事

一 同断ニ付、両町役中、於宰府同断

一 御扶持人中於祇園社同断

//六日

一 又三郎殿御病氣ニ付、御扶持人中代ルく一夜ニ兩三人ツ、相

詰候事

八月十二日

一 奥又三郎殿、御死去之事

但、御齋三日也

八月十三日

一 又三郎殿、御送葬之事

同十四日

一 又三郎殿御死去之旨、御国へ御案内之事

但、中間助八被差越候事

一 右御死去ニ付、隣国へ御知らせ之事

九月廿一日

一 儀左衛門殿、下モ村田作為御見分之事

但、御かこ夫・合羽持夫、御雇也

十月廿日

一 小川又三郎殿御家内御帰国ニ付、人夫手当之事

十月廿八日

一 小川又三郎殿御家内、御出立之事

宝曆十一巳年

正月元日

一 奥御役御關役ニ付、表家計ニ而年始御祝詞之事

四月二日

一 儀左衛門殿、善導寺御参詣之事

五月六日

一 奥御役田島左近右衛門殿、四月廿七日乗船之由申来候事

六月朔日

一 田島左近右衛門殿、御着之事

六月四日

一 左近右衛門殿、御役御引請之事

但、此節御先役無之

六月十日

一 左近右衛門殿方御家来之儀ニ付、御口達御出シ被成候事

六月廿三日

一 左近右衛門殿、久留米へ御勤之事

但、委細十八日之処記有之

八月八日

一 御巡見上使久留米へ御越、奥御役御越之節、表・御賄御門外内御

迎送之儀ニ付、先格御考之事

但、御迎送之儀、前二記有之

八月十一日

一 左近右衛門殿久留米へ御越之事

但、於彼地之次第、巨細しるし有之

九月三日

一 左近右衛門殿、佐嘉御越之事

十月三日

一 儀左衛門殿、下村田作見分ニ御出之事

十一月九日

一 儀左衛門殿、御馬廻ニ御立身之御左右到来、御祝詞之事

十一月十二日

一 儀左衛門殿御立身、爰元御勤之事

委細記有之

//廿一日

一 儀左衛門殿御昇進ニ付、御高札奥御連名ニ御書改之事

十二月九日

一 左近右衛門殿、御出獵之事

十二月十五日

一 弥次左衛門殿代中原作五郎殿被仰付御左右之事

十二月十九日

一 奥御牽馬無之、勤之節御借馬賃銀被成下之員数之事

宝曆十二年

正月十二日

一 儀左衛門殿、鎧鏡開之事

但、当年御立身ニ付、於御本間御祝有之

正月十八日

一 儀左衛門殿阿蘭陀人附士御勤之節、御若党四人御連被遣候事

但、此節御立身ニ付、壹人増而四人御連レ被成候事

二月五日

一 弥次左衛門殿上使屋移初有之、役々祝詞之事

三月十一日

一 弥次左衛門殿、上使屋引移之事

但、先達而移初之節、祝詞申述被候間此節不及祝詞候事

三月廿九日

一 弥次左衛門殿、一生大小姓ニ被仰付と之御左右有之候事

四月朔日

一 儀左衛門殿先般御馬廻リニ御立身ニ付、下壹人御宛行十表御増(儀)

被成候と之事

四月朔日

一 信使御用銀三付、御兩役御米拝領、附役中御祝詞之事

四月八日

一 弥次左衛門殿、御立身之事

閏四月五日

一 御兩役并御賄役、加利川御普請所御見分之事

閏四月廿一日

一 新御賄役、中原唯五郎殿着之事

五月廿一日

一 先御賄役島村弥次左衛門殿、出足之事

六月八日

一 表儀左衛門殿赤馬関へ御越、御手当之事

委細可考

六月廿八日

一 右三付、先触之事

七月朔日

一 右御出立之御祝之事

七月二日

一 儀左衛門殿御出立并古賀磯右衛門・大庄屋・町役御出立之事

一 七夕之御祝詞、表家御留主三候得共、依先格一統御本間二列座御

祝詞之事

七月十四日

一 孟蘭盆御礼七夕同前

七月廿日

一 左近右衛門殿為田作御見分、郷村へ御出之事

但、供廻り郷方出ル也

七月廿八日

一 儀左衛門殿、下ノ関方御帰郷之事

九月七日

一 例切為見分、儀左衛門殿幡崎へ御出之事

但、弁当持町雇也

九月十三日

一 同断三付、左近右衛門殿瓜生野村へ御出、御供郷方出候事

已下略之

九月十七日

一 左近右衛門殿、宰府御参詣之事

十月十六日

一 当年早損三付、小田儀左衛門殿、御国江御渡海可被成と之御決定

之事

十一月七日

一 就御用儀左衛門殿、中御帰国之事

十二月廿七日

一 儀左衛門殿御帰着之事

宝曆十三末年

正月十五日

- 一 田島・小田御兩氏へ之御朱印御壁書御読聞せ、御賄役被読之、御支配方之御書付五年已後、爰元ニ而被仰渡之御書付、手代役緒方又右衛門を以御読渡之事

但、右御書付老通ハ佑筆方、老通ハ御扶持人中、老通ハ三郷兩町

へ御渡之事

四月廿五日

- 一 左近右衛門殿御甥子小野弥五郎殿御病死、役々御悔申上候事

四月廿九日

- 一 左近右衛門殿、御弓大将ニ御昇進、役々御祝詞申上候事

五月十日

- 一 左近右衛門殿、高良山へ参詣之事

七月朔日

- 一 左近右衛門殿御代役平田又右衛門殿、被蒙 仰候御左右有之候事

事

八月廿五日

- 一 左近右衛門殿、宰府御参詣之事

岩谷三左衛門同断之事

八月廿六日

- 一 奥御役出火之場、御出之事

九月七日

- 一 奥御役御代平田主典殿ニ被仰付置候処、御振代り樋口弥五左衛門殿被蒙仰候と之事

九月十五日

- 一 信使御誘引之節、御兩役之内御出関ニ不及と之儀、御国許方御差 図被仰越候事

但、右ニ付先規御考、委ク記有之

九月廿八日

- 一 左近右衛門殿、千栗山へ御参詣之事

十一月五日

- 一 御米仕出之節、御賄役水屋浜出勤ニ走番相附候次第御議論之事

明和元年

三月九日

- 一 奥御内御平産、役々御祝詞之事

六月六日

- 一 御賄役唯五郎殿就御用、坂越へ被罷越候事

七月六日

- 一 唯五郎殿、坂越方帰郷之事

九月二日

- 一 左近右衛門殿、高良山へ御詣之事

九月十五日

- 一 奥御代樋口弥五左衛門殿、博多御着岸之事

但、手代役急ニ不被差出之訳、博多役へ御掛合之事

九月廿四日

一 左近右衛門殿、上使屋へ御引移之事

但し、御逢被成へ、手代役を披露いたし候事

九月廿七日

一 樋口弥五左衛門殿、御着之事

十月朔日

一 弥五左衛門殿御着之御祝詞之事

十月九日

一 弥次左衛門殿御家頼行規方之儀ニ付、在町へ御申触之事

十一月四日

一 御本役田島左近右衛門殿、爰許御発駕之事

但、今度途中二三郷組頭中罷出候事

十一月廿一日

一 弥五左衛門殿佐嘉御勤御帰之節、御泊り之手当之事

明和二酉年

五月四日

一 信使御下向之節、於大坂之一件御宿願之筋有之、表役儀左衛門

殿筑前田代宮へ御参詣之事

附、前川善左衛門参詣之事

右供廻り之内駕籠夫六人者御役所扱、其余ハ自分御被雇也

九月廿二日

一 儀左衛門殿宰府御参詣之事

明和三戌年

二月廿七日

一 儀左衛門殿長崎御越御手当之事

三月二日

一 儀左衛門殿長崎へ御出立之事

〃

一 橋辺豊左衛門殿同断之事

三月晦日

一 儀左衛門殿、長崎へ御帰之事

五月朔日

一 弥五左衛門殿御代役之儀、島雄権之助殿被蒙 仰候御左右到来之事

但、帳面にて相済、尤、表へも御挨拶申上候と有之

十二月十四日

一 唯五郎殿、就御用坂越へ被罷越候付、役々見送り之事

明和四亥年

三月十五日

一 唯五郎殿、大坂より帰着之事

三月廿一日

一 弥五左衛門殿御繼母、御死去之事

但し、御国方御左右有之、役々御悔申上候事

三月廿六日

一 唯五郎殿病氣二付、筑後小郡町松本春城相招寄、御門出入御免之事

事

九月十二日

一 唯五郎殿、永々大小姓三昇進被仰付候御左右御到来之事

九月十五日

一 唯五郎殿昇進二付、祝詞之事

一 右二付、御兩所御出之御祝有之、御料理被差出候事

但、此節布上下着也

十二月廿六日

一 唯五郎殿病氣二付、依願御役御免役々祝詞之事

明和五子年

三月廿一日

一 唯五郎殿就病氣他領医者、御門出入御免之事

四月四日

一 唯五郎殿代吉野応助殿、博多着之事

四月十日

一 唯五郎殿、上使屋へ引移之事

四月十二日

一 新御賄吉野応助殿、到着之事

四月晦日

一 唯五郎殿役儀引渡相濟、手代中挨拶申述候事

五月朔日

一 御賄役吉野応助殿、御役之御祝詞之事

七月十三日

一 中原唯五郎殿、於上使屋死去之事

七月十七日

一 中原葬送之事

七月十九日

一 儀左衛門殿日田御使者之儀被仰越候二付、御用意之事

但、御代官揖斐十太夫様、当春西国筋御郡代被蒙 仰付而之御使者也

七月廿二日

一 儀左衛門殿為御使者、日田へ御出立之事

但、手代役岩谷三左衛門相附ス

七月廿三日

一 儀左衛門殿日田御陣屋御勤砌、御病氣差癢大切二相見へ候段、岩

谷三左衛門方急飛脚を以申越候事

一 右二付、手代役門司郡兵衛・医師平川元隆、日田へ被差越候事

七月廿四日

一 右ニ付附役中、於四阿屋宮立願之事

七月廿五日

一 儀左衛門殿病氣為見廻、附役中為惣代大石源右衛門、日田へ罷出候事

一 右ニ付、大庄屋老人三郷方庄屋老人ツ、同断、日田へ罷越候事

一 儀左衛門殿病氣ニ付、十太夫様手代衆方弥五左衛門殿へ御飛札来候事

七月廿七日

一 儀左衛門殿御快方ニ付、日田表方御歸り之事

七月廿九日

一 右ニ付、御陣屋方様々御心添有之候故、樋口方元メ手代衆三人へ御飛札御音物被遣、儀左衛門殿方も御断之事

七月晦日

一 儀左衛門殿、日田御勤并於彼方御病氣諸事折渡之次第、記録仕立有之と之事

八月十一日

一 先御賄役中原唯五郎殿跡、家内帰国之事

但、役々不及見送と之事

九月四日

一 儀左衛門殿御病快御病後初而御寄会有之、奥方御祝之事

十二月廿九日

一 弥五右衛門殿御嫡孫御誕生之御左右御到来ニ付、御祝詞之事

明和六丑年

二月四日

一 儀左衛門殿御交代之御左右有之、御祝詞之事

三月廿二日

一 儀左衛門殿、上使屋へ御引移之事

一 御佐役秦武左衛門殿、御着之事

但、賄役御門内へ被罷出御同道御広間ニ在付、其後奥表御広間ニ

御出被成、尤、前々ハ表古御役御門内へ御出張御広間ニ御同道被

成義ニ候へ共、儀左衛門殿御跡右御違イ被成候故、其儀無之と之

事

四月二日

一 儀左衛門殿、御役御交代之事

但、先格御考一ノ宮又右衛門殿御交代之御手数ニ而、御引渡之事

四月三日

一 秦武左衛門殿、御着之御祝詞之事

四月廿日

一 武左衛門殿方家来中之儀ニ付、口達書御渡し、在町申触之事

四月廿四日

一 表御役小田儀左衛門殿、御出立之事

六月八日

一 御佐役武左衛門殿、洪水御見分之事

九月十日

- 一 武左衛門殿、兩町高札場御見分ニ御出之事
九月十九日
- 一 武左衛門殿、三郷ノ願出堤築場所為御見分御出之事
十月十八日
- 一 御開運御祈願ニ付、武左衛門殿幸府へ御參詣之事
但、門司郡兵衛・岩谷順左衛門・大石又八へも同断之事
十月廿三日
- 一 御開運御祈願ニ付、樋口弥五左衛門殿高良山へ御詣之事
右ニ付、岩谷三左衛門・青木利右衛門同断之事
一 右同断ニ付、御賄吉野応助殿管崎へ參詣之事
十二月朔日
- 一 応助殿、大小姓ニ昇進被仰付候段内々之御左右有之、御両所御賄方へ御出、御内々御祝詞之事
十二月十一日
- 一 応助殿御昇進ニ付、御祝詞之事
明和七寅年
- 二月十四日
- 一 秦武左衛門殿、方□田堤泥浚為御見分、御出之事
(才)
人馬者賃錢御払也
三月十三日
- 一 武左衛門殿、御備船為御見分、酒井村へ御出之事
- 四月廿四日
- 一 弥五左衛門殿御代り島雄權之助殿、博多御着船之事
五月十五日
- 一 弥五左衛門殿上使屋へ御引移之事
五月十六日
- 一 御本役島雄權之助殿、爰元へ御着之事
五月廿日
- 一 權之助殿御着之御祝詞之事
六月十六日
- 一 先奥御役樋口弥五左衛門殿、御発駕之事
七月十八日
- 一 武左衛門殿、干田為御見分、下毛村へ御出之事
七月廿九日
- 一 江戸御左右ニ付、御願成就として応助殿管崎へ御社參之事
八月八日
- 一 同断ニ付、武左衛門殿大幸府へ御參詣之事
八月十二日
- 一 權之介殿御妹子御死去之御左右有之、御悔之事
八月十七日
- 一 權之介殿、久留米へ御勤之事
十月六日
- 一 權之介殿御三男孫六殿、痘瘡之事

十月十八日

一 武左衛門殿、河内山杉木御仕立之場所、為御見分御出之事

十月廿二日

一 権之介殿御実母御死去之御左右到来之事

明和八卯年

正月二日

一 権之介殿、為年礼今日表家へ御出之事

三月六日

一 権之介殿、佐嘉へ御勤之事

三月十二日

一 御用銀御領中へ被仰諭之為御褒美、権之介殿へ八木七表(儀)、武左衛

門殿へ同五表(儀)、御賄へ同三表御拝領被仰付候事

四月廿五日

一 権之助殿御代り平田又左衛門殿、被蒙 仰候事

五月八日

一 御両所為破損所御見分、御出之事

五月廿八日

一 権之介殿御継母様死去之御左右到来、御悔之事

六月五日

一 武左衛門殿砂入田為見分、御出在之事

十月七日

一 権之介殿御老父八左衛門殿死去御左右有之、役々御悔之事

十一月朔日

一 御賄役応助殿嫡男病死之事

安永元辰年

正月十五日

一 権之介殿年頭御不快ニ付御盃無之、今日大小庄屋中へ御祝御盃之事

一 在町役々方差上候年頭之扇子、海路不順ニて廻着不仕、目錄ニ而

御礼申上置候処、昨日参着いたし扇子差上候事

正月廿日

一 守儉被仰出砌ニ付、御本家鎧鏡弘メ内々御祝之事

四月廿六日

一 武左衛門殿、永吉村樋掛御普請為御見分御出、土取之儀ニ付庄屋中申談之筋、武左衛門殿穿鑿之事

五月六日

一 権之介殿御代平田又左衛門殿、博多役宮川佐平太殿類船ニ而着岸、其由御蔵屋敷門司郡兵衛方申越之事

五月八日

一 宮川佐平太殿、御算用引渡として応助殿出博之事

五月十二日

一 権之介殿、上使屋引移之事

五月十九日

一 御本役平田又左衛門殿御着之事

右之節大雨ニ付、手配り之事

五月廿六日

一 又左衛門殿御着御祝詞之節御扶持人中披露、御賄役就病氣、手

代役岩谷三左衛門相勤候事

六月朔日

一 又左衛門殿、初而御社參之事

六月二日

一 又左衛門殿、兩寺へ御仏參之事

六月十五日

一 島雄權之助殿、御発駕之事

七月十日

一 武左衛門殿御交代之御左右有之、祝詞之事

”

一 応介殿、永々大小姓ニ昇進之事

十月八日

一 同人代小茂田幸右衛門殿、博多着之事

十月八日

一 御佐役武左衛門殿御代吉野応介殿転役ニ付、御祝詞之事

十月九日

一 武左衛門殿、上使屋へ引移り之事

十月三日

一 先御賄役応介殿、表家へ御引移り之事

十月十四日

一 御賄役小茂田幸左衛門殿着之事

但、此節御屋敷下代緒方喜内、奥へ致誘引候事

十月廿二日

一 武左衛門殿・応介殿御交代之節、御手数之事

十月廿六日

一 応介殿御佐役被蒙仰候候御祝詞、小茂田幸右衛門殿御役之詞之事

十二月二日

一 秦武左衛門殿、御出立之事

十二月十一日

一 又左衛門殿、久留米御勤之事

十二月十六日

一 又左衛門殿、佐嘉御勤メ彼方差支之儀有之、来正月御越被成候様

申来候事

十二月五日

一 平田又左衛門殿、御家督御左右之事

十二月十日

一 右ニ付、御祝イ之事

安永二巳年

三月十日

一 又左衛門殿、佐嘉御勤之事

但し、此節当所御出立即日佐嘉御勤御歸路御泊也

閏三月六日

一 佐嘉を返礼御使者之事

閏三月十日

一 応介殿御内、平産祝詞之事

四月八日

一 御両所、大川筋御見分之事

四月十九日

一 応介殿、日田御越御手当之事

四月廿日

一 応介殿、日田御使者之事

四月廿三日

一 同日田御歸郷之事

六月朔日

一 又左衛門殿御代り三浦酒之允殿、被蒙 仰候事

安永三午年

正月二日

一 御賄役就病氣、御蔵開ニ出座無之事

二月十二日

一 御佐役応介殿、御勘定添役蒙 仰候ニ付、御祝詞之事

二月十二日

一 去冬御借銀御諭方宜を被称、御両所并御賄へ御米拝領之事

四月八日

一 三浦酒之允殿、博多御着船之事

四月十三日

一 又左衛門殿、大川筋御見分之事

四月廿二日

一 又左衛門殿、上使屋引移り之事

四月廿七日

一 因幡守様御昼休ニ付、又左衛門殿暫時御本家へ御移之事

四月廿八日

一 三浦酒之允殿、御入込之事

五月廿八日

一 平田又左衛門殿、御発駕之事

六月十五日

一 御朱印御壁書之事

附り、御支配る之御書付読渡之事

六月十九日

一 就御用小田儀左衛門殿、坂越へ御出之事

六月廿七日

一 応介殿、御勤越之事

八月十五日

一 幸左衛門殿、坂越る歸着之事

十月朔日

一 幸左衛門殿就病氣、旅医御門出入御免之事

十二月九日

一 新御賄修行源五右衛門殿、上使屋へ逗留有之候処、幸左衛門殿引

移二付、源五郎殿町宿へ被引直之事

十二月十二日

一 幸左衛門殿上使屋引移り、源五右衛門殿御賄方へ引移り之事

右二付、手数等有之候事

安永四未年

正月十日

一 幸左衛門殿、袋町伝左衛門向家借り受、引移之事

正月十日

一 幸左衛門殿、於町宿病死之事

二月十一日

一 幸左衛門殿、葬送之事

二月十九日

一 源五右衛門殿、博多行之事

二月廿六日

一 応介殿、善導寺御参詣之事

三月十二日

一 応介殿、宰府・宮崎へ参詣之事

四月三日

一 源五右衛門殿家内博多着船、爰元へ被引越候二付、迎人馬之事

四月九日

一 先賄役小田儀左衛門殿跡家内、爰元出立之事

五月五日

一 酒之允殿御内、平産之事

五月十二日

一 応介殿、当年中爰元御勤越之事

七月五日

一 応介殿、御紋付之御布上下御拝領之事

十月二日

一 応介殿依勤功永々俵取二御立身、壹人扶持切米壹石御加増及源五右衛門殿、永々大小姓二昇進之段内々申来候事

十月八日

一 応介殿御昇進二付、御祝詞之事

十月廿四日

一 源五右衛門殿、緒方喜内御貢米積船見分として、橋津江被罷越候事

十月廿四日

一 応介殿御内之御舎兄難波勤吾殿、表へ相見へ一統見廻之事
十一月朔日

一 酒之允殿御代樋口勅負殿、被蒙 仰役々祝詞之事

但、先達平田勝衛右衛門殿御代り蒙 仰候処、此節御振替り也

十一月廿日

一 応介殿、日田表へ御越之事

十一月廿七日

一 応介殿、日田表方御歸り之事

一 御同人腫物御煩之事

十二月十日

一 応介殿日田表方御歸り已後、彼方へ御挨拶難被仰越、別当勘次方

博多屋平八迄書通書状往復之事

十二月十九日

一 酒之允殿、不凶御病ミ又々佐嘉御越御延引之事

十二月廿三日

一 応介殿、癌腫之御痛差重り御病死之事

十二月廿五日

一 同葬送之事

閏十二月十日

一 江戸表大願筋二付酒之允殿、宰府・宮崎へ御参詣之事

同十六日

一 博多へ御米被差出候二付、源五右衛門殿夜通し二出博之事

安永五申年

正月元日

一 奥御祝之席ニ寺崎徳兵衛殿、被罷出候事

正月六日

一 江戸表御大願筋二付、御賄役高良山へ参り候事

正月廿四日

一 御浦触一件二付、為御挨拶源五右衛門殿、日田行之事

二月十九日

一 古川半左衛門殿、博着之事(多服方)

二月廿四日

一 吉野佐七殿、家統相統之御左右ニ付御祝之事

二月廿五日

一 吉野佐七殿、上使屋引移り之事

三月五日

一 古川半左衛門殿、御着之事

但、此節表古役無之、御賄役も旅行ニ付、手代役岩谷常右衛門御

案内仕り御広間三ノ間ニ御在附之事

三月七日

一 佐七殿、袴着初而祝之事

三月十日

一 半左衛門殿御着御祝詞之節、御書付被仰渡候事

四月八日

- 一 酒之允殿、佐嘉御勤之事
- 四月廿七日
- 一 右二付、佐嘉御使者之事
- 五月四日
- 一 半左衛門殿、砂入田為見分、永吉村へ御出之事
- 一 源五右衛門殿、就御用中帰国之事
- 先格人馬郷ふいたス
- 五月廿一日
- 一 酒之允殿、久留米御勤候事
- 五月廿七日
- 一 半左衛門殿、山潮荒跡御見分之事
- 六月朔日
- 一 源五右衛門殿、中帰国之筈にて出博有之居候処、山潮二付帰郷有之、今日又々如博多出足之事
- 〃
- 一 樋口勅負殿、博多へ御着岸之事
- 六月廿日
- 一 吉野佐七殿、出立之事
- 六月廿三日
- 一 酒之允殿、上使屋御引移之事
- 六月廿九日
- 一 御本役樋口勅負、御入込之事^(殿脱)
- 一 御朱印御壁書之事
- 但、御賄役中帰国二付、岩谷常右衛門誦之
- 八朔
- 一 御佐役病氣二付、御賄中帰国二付、今日御祝イ無之事
- 八月九日
- 一 酒之允殿、爰元御発駕之事
- 八月十二日
- 一 源五右衛門殿を御国へ御帰郷之事
- 但、人夫郷ふいたス
- 八月望
- 一 御佐役・御賄役、小倉村上地御見分之事
- 八月廿六日
- 一 半左衛門殿、水入田御見分之事
- 但、町馬御雇也
- 八月廿九日
- 一 奥御内様親多田外衛殿死去二付、御悔之事
- 九月八日
- 一 奥御内平産之事
- 九月九日
- 一 奥御産穢二付、於表家当日御盃之事
- 十月朔日
- 一 奥御誕生之御男子御不幸二付、御見廻之事

十一月十一日

一 御拝領金御祝詞として、赤馬関へ半左衛門殿御出張之事

十月十九日

一 半左衛門殿為見廻、在町方赤馬関へ飛脚差立候事

十二月十八日

一 殿様御延引ニ付、半左衛門殿赤馬関方中帰郷之事

安永六酉年

正月三日

一 半左衛門殿、赤馬関へ御越之事

正月九日

一 半左衛門殿、御帰郷之事

正月十七日

一 半左衛門殿御旅行ニ付、原田御使延引ニ相成居、今日御使被差越

候事

二月十一日

一 源五右衛門殿、御借銀御用ニ付、長崎出立之事

三月四日

一 半左衛門殿、宰府・宮崎へ御参詣之事

四月五日

一 源五右衛門殿、従長崎帰郷之事

五月十七日

一 半左衛門殿御嫡安之允殿、御帰国之事

但、役々見送事、人馬郷方方出候事

五月廿七日

一 鞠負殿、久留米御勤之事

但、殿様御帰城前候付、今暫ク御延引被成候、彼方町奉行方申来

候事

八月十七日

一 半左衛門殿、就御用中御帰国之事

十月三日

一 半左衛門殿、帰郷之事

附、門司郡兵衛同断

十月廿三日

一 奥、佐嘉・久留米為御届御越被成候儀、御双方共ニ御差支ニて是

迄延居、此上表立御掛合被成かたく、彼方御差支之有無町役方

轟木・小郡町役迄問合候様被仰付候事

十一月十日

一 鞠負殿、佐嘉御勤之事

安永七戌年

三月七日

一 半左衛門殿、武蔵へ御入湯之事

但、鎗為御持不被成上下三人ニて御忍ニて御出之事

三月十四日

- 一 鞠負殿、久留米御勤之儀差支無之段申来候得共、御凶変之砌ニ付、奥御役御病氣之趣ニテ延引之段、致返答候様御差凶之事

四月十二日

- 一 御用銀調達之訳ニ付、御当役方御米拝領之事

四月廿五日

- 一 奥御姉子御死去之御左右、御悔之事

五月十六日

- 一 御賄源五右衛門殿、中帰国之事

六月十五日

- 一 奥御誕生之御子息、死去之事

七月廿八日

- 一 鞠負殿、久留米御勤之事

閏七月七日

- 一 半左衛門殿、日田表御使者御勤御出立之事

同十一日

- 一 源五右衛門殿於御国病氣ニ付、家内帰郷之儀申来候事

閏七月十六日

- 一 右、出立之事

// 廿六日

- 一 賄役中帰国ニ付、御米配等御伺越ニ罷成、御状飛脚之達之事

八月三日

- 一 鞠負殿、御代平田主典殿博多御着之事

八月十四日

- 一 鞠負殿、上使屋へ御引移之事

八月十八日

- 一 平田主典殿、爰許入込之事

八月廿六日

- 一 鞠負殿未御出立無之御奉公ニ付、御茶屋差支、折柄御賄方明居候故、御引移之事

九月廿七日

- 一 御賄役修行源五右衛門殿代田井洩右衛門殿、着博之事

九月九日

- 一 樋口鞠負殿、爰許御出立之事

九月廿九日

- 一 主典殿方御渡被成候御書付之事

十一月九日

- 一 水入田且大川筋為御見分御兩所、有田李右衛門殿御出并田井洩左衛門殿・武田甚右衛門殿被罷出候事

- 一 水入田且大川筋為御見分御兩所、有田李右衛門殿御出并田井洩左衛門殿・武田甚右衛門殿被罷出候事

安永八亥(年脱)□

三月十日

- 一 半左衛門殿御詰越御左右、御祝詞之事

三月十日

- 一 洩右衛門殿、同断

三月十日

五月十二日

一 半左衛門殿、御病氣差募候事

五月廿五日

一 同断ニ付、医師中勤方御差図之事

八月十五日

一 半左衛門殿御交代御左右御達、御詞之事

九月廿三日

一 半左衛門殿御代兒島平左衛門殿、博多御着之事

十月朔日

一 半左衛門殿、上使屋御引移之事

十月十五日

一 兒島平左衛門殿、御着之事

但、半左衛門殿御病氣ニ付、手代役御案内之事

安永九子年

二月十五日

一 先御賄役修行源五右衛門殿勤役之内、御算用為調渡海博着之事

三月廿六日

一 主典殿御話越御左右御達、御祝詞之事

六月十七日

一 源五右衛門殿、歸国出立之事

九月十八日

一 溯右衛門殿、出博之事

// 廿三日

一 右同人、歸郷之事

十月廿五日

一 主典殿、佐嘉御届勤之事

安永十丑年

天明元と相成

正月廿七日

一 宗門改之節、御賄役被罷出候事

四月八日

一 御兩役并賄役荒地為御見分、園部村へ御出之事

四月廿六日

一 溯右衛門殿、博多出之事

七月十五日

一 奥御代り古川藏人殿、博多御着船之事

七月廿四日

一 主典殿、上使屋御引移之事

八月十日

一 藏人殿、御着之事

一 御同人右手代中へ御口達御書付之事

八月廿五日

一 主典殿御内々、武蔵へ御入湯之事

九月八日

一 蔵人殿、御扶持人中御盃之事

九月九日

一 蔵人殿御家来之儀ニ付、被仰渡之事

九月十四日

一 主典殿、御出立之事

十一月四日

一 児島平左衛門殿、上使屋へ引移之事

十二月八日

一 上川定右衛門殿、御着之事

一 定右衛門殿、御役引請之事

但、平左衛門殿病氣ニ而御出無之事

十一月十五日

一 定右衛門殿御着、祝詞之事

十一月廿六日

一 児島平左衛門殿、御出立之事

十二月廿二日

一 御主法ニ付、御差図之事

但、巨細日記可考々々

天明貳寅年

二月廿日

一 蔵人殿御家来之内、川御普請之夫ニ被差出度、差支之有無御内々

御問合ニ付、手代中存寄申上候事

三月四日

一 定右衛門殿御連レ渡之御家来帰国折柄之儀ニ付、御米才領被仰

付候事

三月廿一日

一 蔵人殿鹿狩ニ御出ニ付、狩り作法御書付御渡之事

四月朔日

一 御同人、久留米御勤之事

八月十日

一 御賄役交代後逗留日数之儀、御差図之御状御達之事

八月朔日

一 御賄役稻富繁兵衛殿、博多着之事

但、九月十一日此元越し

// 廿四日

一 蔵人殿御交代之御左右御達、御祝詞之事

十月十八日

一 博多役山野兵衛殿御用ニ付、御越之事

// 晦日

一 先賄方田井^(マ)右衛門殿、今日出立之事

十一月廿日

一 蔵人殿、佐嘉御勤之事

十二月六日

一 右二付、佐嘉御家老中の飛脚来候事

但し、御取計之事

天明三卯年

二月八日

一 蔵人殿御代浅井求馬介殿、博多御着船之事

〃

一 博多御蔵敷御普請二付、御賄役繁兵衛殿出博之事

二月十三日

一 蔵人殿、上使屋へ引移り之事

二月廿六日

一 浅井求馬介殿、御入込之事

三月六日

一 古川蔵人殿、御発駕之事

七月十四日

一 御佐役御交代之御左右二付、御祝詞之事

天明四辰年

正月廿日

一 定右衛門殿、明後廿二日の日田御勤二付、御音物手当之事

二月八日

一 御屋敷内家来中夜分御門出入二付、被仰渡候事

三月朔日

一 御佐役宮川平左衛門殿、今日入込之事

五月九日

一 繁兵衛殿、播州坂越へ被罷越候事

十月六日

一 求馬介殿、久留米御勤之事

天明五巳年

正月十八日

一 阿蘭陀人止宿、佐役御痛、賄役附士へ勤之事

三月十八日

一 平左衛門殿、佐嘉領ジケ土居御見分之事

三月廿九日

一 御本家大台所、棟上之事

九月廿八日

一 平左衛門殿、日勤御勤之事

但、御郡代勅負様御養子造酒介様御引移二付、為御祝詞之御使者也

十月四日

一 平左衛門殿、日田へ歸着之事

十二月廿三日

一 御本役求馬之介殿、米百俵被献候事

十二月二日

一 御賄代り財部久右衛門殿、今日引越之事

天明六年

正月十五日

一 例年之通、御壁書御読渡之事

但、御兩役御出席無之

二月廿二日

一 新奥役平田直右衛門殿、博多御着船之事

二月廿六日

一 直右衛門殿、於爰許請取前之米四俵博多へ被差出候二付、町馬賃

錢払之事

二月廿七日

一 去々辰年分、御賄方御算用仕込之事

三月十一日

一 求馬介殿、御茶屋へ御引移之事

三月十七日

一 小倉へ飛脚到来之处、島井幸之進殿去月十一日江戸表出立、当

十六日関着之由、御同人へ書状来、道中行列供用人夫之儀、申来

候事

三月十九日

一 幸之進殿供廻之事、記し有之事

三月廿八日

一 平田直右衛門殿、今日御入込之事

四月十三日

一 求馬介殿、今朝御発駕之事

四月十五日

一 直右衛門殿御着、御祝詞之事

四月十八日

一 賄役稻富繁兵衛殿、出立之事

五月七日

一 御主法之定則被取行候二付、準御国爰元賄方之主法被仰渡、且去

辰年へ之御算用帳面銀錢仕分之御算用方二付、御賄役へ被仰渡

候事

六月朔日

一 御本役、田根付為見分、御廻在之事

六月朔日

一 大川筋為御見分島井幸之進殿・宮川平左衛門殿、御出立之事

附、其外爰元役々共二

六月十三日

一 博多役脇田宇左衛門殿病氣二付、御門番兩人へ飛札相達候事

八月十日

一 財部久右衛門殿御用ニ付、出博之事

十月三日

一 御本役ハ御佐役平左衛門殿御用有之、御国へ被招呼候之被仰渡

候事

十一月十九日

一 直右衛門殿御妾産後之病氣ニテ死去、今日葬送之事

十二月廿三日

一 御佐役平左衛門殿、当秋以来積氣(痛)之痛有之候処、今晚不計差重

り死去之事

十二月五日

一 御本役、境目御見分之事

天明七未年

二月十七日

一 御佐役御新役中川卯兵衛殿、博多御着船之処御病氣有之、今晚

御病死之段、同所ハ申来、手代役被差出候事

五月十五日

一 御佐役江口小兵衛殿、入込之事

一 御同人、御着御祝詞之事

九月七日

一 直右衛門殿御詰越、御祝詞之事

九月十日

一 同佐嘉御勤之事

天明八申年

六月十五日

一 小兵衛殿・古川図書殿江戸御下り赤馬関へ御着ニ付、御伺事有

之、小兵衛殿出関之事

七月十七日

一 小兵衛殿、赤馬関ハ帰郷之事

八月十九日

一 御賄役并定右衛門殿、着之事

九月十四日

一 財部久右衛門殿、出立之事

寛政元酉年

二月十六日

一 直右衛門殿、肥前塚崎へ御入湯之事

三月廿七日

一 御新役小河左軍殿、御入込之事

八月三日

一 左軍殿、米府御勤候事

但、巡見上使同所御ハ込ニ付而之御勤也

九月廿五日

- 一 御国許格別之御制儉二付、志州勝本・筑前博多兩所共ニ御代官十ヶ年被廢候二付、博多八爰元御当役_ル御差配被成候様被仰越、諸般為取調賄方出博之事

十二月二日

- 一 左軍殿、佐嘉御勤候事

寛政二戊年

正月七日

- 一 五穀豊饒為祈念、御兩役手を分ケ、三郷宗社へ御社參之事
但し、当年始_ル以来年々右之通被成候ト之事

正月廿日

- 一 御蔵へ被備御鏡餅之儀、於御広間御広_メ被成候事
- 二月十二日
- 一 奥御内御安産御男子御出生二付、役々御祝詞之事

寛政三亥年

三月十八日

- 一 殿様御入郡二付、小兵衛殿并役々出関之事

四月三日

- 一 右同断、帰郷之事

四月十九日

- 一 小兵衛殿、豆田溝筋御見分之事

七月六日

- 一 新御佐役永尾儀兵衛殿、今日御入込之事

七月十五日

- 一 御新役御着之御祝詞として近例之処、附役中并在町役々_ル封錢

差出候事

七月十七日

- 一 江口小兵衛殿、御出立之事

寛政四子年

閏二月十三日

- 一 左軍殿、今日御茶屋へ御引移之事

(朱書)
四月廿三日

- 一 御国到来御拝領金一万二千兩之内、御国元へ御取下ケニ相成、御家中一統へ平等ニ御銀拾五匁ツ、被仰付、爰元附役中并三組迄御書付を以被仰渡之事

三月六日

- 一 御本役大浦主税殿、御着之御祝詞之事

三月十四日

- 一 小河左軍殿、今日御発駕之事

三月晦日

- 一 主税殿、佐嘉御勤之事

寛政五丑年

三月八日

- 一 儀兵衛殿就御用、御出関之事

三月十四日

- 一 御賄役島井政五郎殿、博多着之事

三月廿八日

- 一 同入込之事

- 一 儀兵衛殿、関方帰郷之事

四月廿四日

- 一 加島公石牌建立之儀、於下関御伺有之、御聞濟之事

但、此外御伺之筋々有之候得共略之

七月廿日

- 一 儀兵衛殿御詰越ニ付、取次を以御祝詞之事

寛政六寅年

二月廿六日

- 一 園部村方願出之岩坪堤為御見分、御両所御出之事

三月七日

- 一 儀兵衛殿御交代之御左右相達、取次を以御祝詞之事

三月十四日

- 一 儀兵衛殿為御忝、大川下筋御見分御出候付、役々相附罷出候事

三月十六日

- 一 御佐役、御帰国前御留別御盃被成候事

三月廿四日

- 一 儀兵衛殿、上使屋引移之事

四月五日

- 一 儀兵衛殿、日田羽倉様御使者勤として出立之事

四月八日

- 一 同帰着之事

四月十二日

- 一 表御役江口仲殿、御入込之事

四月十六日

- 一 御佐役永尾儀兵衛殿、御出立之事

七月廿日

- 一 御当役方、三郷総社へ御参詣之事

但、雨天ニ付、順気祈之為メ也、主意書可考

八月廿五日

- 一 御本役大浦主税殿御交代前ニ候へ共、今暫御勤越之御左右相達

シ、御祝詞之事

寛政七卯年

三月五日

- 一 仲殿、肥後杖立へ御入湯之事

四月四日

一 奥御代島雄太膳殿、御賄役代り国分徳五郎殿昨三日御博着之御

祝詞

四月十五日

一 徳五郎殿、今日入込之事

五月四日

一 主税殿、御茶屋移之事

五月七日

一 古賄島居政五郎殿、今日出立之事

五月八日

一 御新役島雄太膳殿、今日引越之事

五月十三日

一 同御着之御祝詞之事

六月二日

一 大浦主税殿、今日御発駕之事

七月朔日

一 御賄役国分徳五郎殿大小姓ニ昇進、一統祝詞之事

八月四日

一 奥御預り馬老馬ニ相成、入札払ニ被仰付候事

九月十八日

一 島雄太膳殿、佐嘉へ御勤之事

寛政八辰年

正月七日

一 御社参之儀、御国元御差支ニ付、御延引ニ相成候事

七月十日

一 仲殿、今暫勤越被仰越候事

寛政九巳年

四月廿七日

一 以酌庵、博多寄船大宰府へ参詣ニ付、仲殿御使者勤として出博之

事

八月二日

一 御本役浅井求馬介殿、頃日御着博近日御入込ニ付、手代役出役之

事

八月四日

一 御古役太膳殿、御茶屋へ御引移之事

八月七日

一 浅井求馬介殿、今日入込之事

カズマ
八月十七日

一 島雄太膳殿、御発駕之事

九月九日

一 御新役、御朱印・御壁書御読渡之事

十月廿一日

一 仲殿儀、御支配大森御氏へ御用ニ付、御出関之事

寛政十年年

二月十四日

一 奥御役浅井殿、佐嘉へ御勤之事

四月廿九日

一 同久留米御勤之事

六月廿五日

一 御賄役阿比留甚兵衛殿、今日入込之事

七月二日

一 古賄国分徳五郎殿、出足之事

十月三日

一 甚兵衛殿、大小姓ニ昇進之事

十月十四日

一 右ニ付、祝詞之事

寛政十一年年

四月廿三日

一 奥御代り吉川隆左衛門殿被仰蒙候、御内状御達之事

十二月廿七日

一 表御役代中村郷右衛門殿、博多御着船之事

寛政十二申年

正月十日

一 御佐役中村郷右衛門殿、御入込之事

但、松之内故、出迎肩衣着也

正月十三日

一 表御役卜御佐役、御交代之事

但、明和六丑年小田氏之例を以、御交代之事

正月廿六日

一 江口仲殿、今日如博多御出立之事

二月朔日

一 郷右衛門殿・緒方又左衛門其外役々、下関へ出立之手当之事

附り、就右、又左衛門嫡子正之介為介抱罷越分、御切手願之事

二月二日

一 郷右衛門殿以下、今日出関之事

二月十三日

一 同赤馬関方帰郷之事

但し、殿様御参観暫御延引相成候付、御引取ニ相成候様申来候ニ

付而之事

閏四月十八日

一 浅井殿御詰越之儀、在町役方先達願出有之居候処、今般御国御

左右有之、御佐役方在町役へ御直達之事

六月十四日

- 一 数馬殿来正月御交代御左右相達、役々御祝詞之事
但、在町役ハ帳面ニ記し、御祝詞申上候也
- 七月十二日
- 一 中村氏御母公死去之御左右相達、一統帳面を以御悔ミ申上候事
- 九月廿二日
- 一 殿様御參觀ニ付、御佐役以下共ニ御出関之事
- 十月廿八日
- 一 同御帰郷之事
- 享和元酉年
- 正月十八日
- 一 破船一件ニ付、御賄役出博之事
- 二月廿四日
- 一 御新役仁位求馬殿、今日御入込之事
- 二月廿八日
- 一 今日、新古御交代之事
- 二月廿九日
- 一 御賄小茂田縫右衛門殿、今日入込之事
- 三月式日
- 一 小茂田氏へ御役之御祝詞申述候事
- 三月三日
- 一 求馬殿御祖母御死去
- 三月四日
- 一 右ニ付、取置方取計之事
- 三月十二日
- 一 古御本役数馬殿、日田御陣屋へ俵物一件ニ付、御出立之事
- 三月十七日
- 一 数馬殿、日田御用相濟帰郷之事
附り、岡村以下帰着有之
- 三月廿三日
- 一 御忌中御佐役近々御出関、其跡御大名様方御通路御同等御取計之事
- 三月廿四日
- 一 浅井数馬殿、御発駕之事
- 三月廿六日
- 一 御佐役、下関へ御出立之事
- 四月五日
- 一 御佐役、下関る直ニ日田御陣屋へ御越之趣、緒方又右衛門る申来候事
- 四月九日
- 一 御佐役、日田る今日帰郷之事
- 四月廿二日
- 一 求馬殿、佐嘉へ御勤之事
- 五月朔日

一 東明館へ孝経之講釈有之、御両所御出張以来二ノ日毎ニ相詰候様、尤、御用隙ニ者附役中も相詰候様被仰付候事

六月五日

一 中村郷左衛門殿中帰国被仰越、先例之通御祝詞申上候事

六月廿日

一 郷左衛門殿、今日出立之事

九月廿三日

一 求馬殿、久留米御勤之事

十月五日

一 賄役へ俵物御用掛被仰付と之事

但し、右ニ付、日田御掛合之事

十二月朔日

一 御佐役大東茂右衛門殿、今日入込之事

享和二戌^(年脱)

十月廿五日

一 江戸詰御家老幾度格左衛門殿御帰国、為御用談御佐役御出博之事

十一月三日

一 御佐役茂右衛門殿、下ノ関方御帰着之事

享和三亥年

四月九日

一 賀島公石牌墨直し、当年へ相始り候事

四月十七日

一 奥御代多田源右衛門殿博着之由、申来候事

四月廿七日

一 求馬殿、今日御茶屋へ引移り之事

五月十一日

一 源右衛門殿御事、福岡御勤御掛合ニ相成候処、黒田氏病氣ニ付、

対面難被成由ニて福岡勤者被出達、来ル十四日当所へ御入込之

趣、申来候事

五月十四日

一 御新役、御入込之事

五月十五日

一 新古、御交代之事

五月廿九日

一 仁位求馬殿、博多へ御発駕之事

七月十日

一 源右衛門殿御老母昨夕御死去ニ付、諸取計之事

委細可考

七月十四日

一 御本役御忌中ニ付、御佐役御本家へ御出張、御受礼之事

七月廿八日

- 一 秋光川渡場を上手寄り洲取除方見分として茂右衛門殿御出之事

十二月十日

- 一 御佐役代岩崎忠右衛門殿被仰蒙候御内状御達、御祝詞之事

- 一 岩崎忠右衛門殿、昨夕博多御着船之趣申来候事

文化元子年

正月九日

- 一 大東氏、今日御茶屋御引移り之事

正月十七日

- 一 岩崎氏、御入込之事

二月十二日

- 一 茂右衛門殿御内室、於御茶屋御病死之事

三月四日

- 一 大東茂右衛門殿、今日如博多御出立之事

三月六日

- 一 縫右衛門殿俵物御用ニ付、日田表へ被罷越候事

但、御用筋ニ付、前以掛合有之候趣、可被申事

九月十八日

- 一 御本役御代り原大作殿、被仰蒙候御差書之事

文化二丑年

三月朔日

- 一 殿様御参観ニ付、岩崎以下御出関之事

三月廿四日

- 一 御佐役、下関へ御帰着之事

四月五日

- 一 縫右衛門殿大小姓ニ昇進有之、御祝詞之事

五月十三日

- 一 御賄役(ママ)輔沢宇左衛門殿、博多着船之事

六月七日

- 一 御本役原大作殿、昨六日博多着船之事

六月九日

- 一 古賄小茂田縫右衛門殿、今日出如博多被罷出候事

六月十九日

- 一 源右衛門殿、御茶屋へ引移之事

六月廿八日

- 一 原大作殿、御入込之事

六月廿九日

- 一 奥御役新古御交代之事

七月十二日

- 一 古御奥役多田源右衛門殿、博多之如発駕之事

九月二日

一 上ハ荷船修理見分方、当年ハ御賄役年々被罷下候通被仰付候事
九月四日

一 御本役原大作殿、佐嘉へ御勤之事

但、当節肥前守様御在府ニ付、御使者無之

十月五日

一 同久留米御勤之儀御掛合候処、故障筋有之及断候事

十一月五日

一 肥前守様ハ御本役へ被成下との之事(ム)

文化三寅年

正月廿七日

一 御国へ大豆六十表(徳)買入、不足銀御役方ハ出候事

四月十日

一 岩崎忠右衛門殿以下御出関之事

四月十五日

一 大作殿叔父様死去ニ付忌明け候付、一日御遠慮被成候事

四月廿九日

一 忠右衛門殿、下ノ関ハ御帰郷之事

委細可考

八月廿七日

一 奥御役御代平田河内殿被仰蒙候御左右之事

文化四卯年

一 忠右衛門殿貰鷹之為御使者、佐嘉へ御越候事

但、御鷹匠倉掛数右衛門并足輕餌打共ニ罷出候也

二月八日

一 同帰郷有之候事

四月十三日

一 新御佐役小島佐七郎殿、御博着之由為知来候事

四月十九日

一 忠右衛門殿、日田御郡代御使者御勤、御出立之事

四月廿三日

一 御佐役、今日日田より帰郷之事

四月廿五日

一 忠右衛門殿、御茶屋へ御引移之事

四月廿九日

一 新御佐役小島佐七郎殿、今日御入込之事

五月三日

一 御佐役、新古御交代之事

五月廿六日

一 岩崎忠右衛門殿、御出立之事

十二月九日

一 大作殿、今日御茶屋へ御引移り之事

十二月十五日

一 奥御新役平田河内殿、今日御入込之事

十二月廿一日

一 御本役、今日新古御交代之事

文化五辰年

正月十四日

一 原大作殿、御発駕之事

五月十三日

一 佐七郎殿御国へ御故障筋有之、御差控御願ニ相成候処不及其儀之段、被仰越其旨在町へ為相知候事

但、御式日等今迄御自分御差控被成居候ニ付、御知らせニ相成候也

九月廿日

一 田島監物殿御死去、御本役御叔父ニ被当候付、御引入被成候事

但、先例村岡左京殿御死去之例を以相考候処、御領中之未触ハ無之

九月廿日

一 長崎へ異船渡来之旨追々注進有之、当時御聞役關役ニ付、小島氏御聞役手替り被仰付、跡御繕使者等ハ只今渡来之小茂田氏へ被

仰付越候事

但、小田儀(茂殿)左衛門殿、明和三戌年之例可考

九月廿四日

一 御佐役小島氏長崎へ御越、今朝御出立之事

十月七日

一 御本役非常之節之御供廻り、田代町方差出候様面附御取り被成候事

十月廿八日

一 御本役御子息兩人、御佐役家内御忍ニ而長崎へ御越之事

但、武雄入湯と御唱被成候事

十二月廿三日

一 御本役平田河内殿御国御兄弟不幸之由ニ而、今日一日御遠慮被成候事

十二月十九日

一 佐七郎殿、長崎方御帰郷之事

文化六巳年

四月九日

一 御賄宇左衛門殿、御茶屋へ御引移り之事

四月十二日

一 新賄陶山金十郎殿、入込之事

四月十四日

一 御本役平田河内殿、佐嘉へ御勤之事

四月廿六日

一 古以酌庵博多寄船之積りニ付、佐七郎殿御出博之事

五月廿三日

一 佐七郎殿、博多^方帰郷之事

六月廿五日

一 河内殿御跡役御極り被成候付、役々御祝詞之事

九月朔日

一 佐七郎殿御使者等御勤之節、是迄ハ立傘為御持無之候へ共、隣旦

之御振合如何敷候付、当御佐役ニ限り立傘御持セ被成候事

九月十日

一 佐七郎殿、佐嘉へ御鷹之御返礼御使者御勤、今日御出立之事

十月十九日

一 御仕立之杉御見分として、河内山・宮浦山・園部山へ御佐役御出

立之事

文化七午年

二月十七日

一 佐七郎殿、日田御使者御勤之事

二月廿一日

一 同帰郷之事

四月十三日

一 佐嘉領ニ而米千四百俵御買米ニ付、御賄金十郎様其外役々罷出

候事

四月廿二日

一 佐七郎殿、御境目御見聞之事

四月廿六日

一 佐七郎殿、佐嘉へ御使者勤として御越之事

七月八日

一 御備苗為御見分、御両役御廻在之事

七月十二日

一 河内殿近々御帰国ニ付、今日御留別之御酒宴之事

七月十二日

一 在町役々上下御為筋心得之儀、封書を以申出候通兼而被仰達置

候処、今日御会席ニ手代中^方差出候事

七月十五日

一 御本役河内殿、今日御茶屋へ御引移之事

七月廿九日

一 奥御新役樋口太郎兵衛殿、今日御入込之事

八月七日

一 平田河内殿へ来聘御用人夫被差渡方ニ付、童紋式卷・銀五枚御称

賜被仰越候事

同日

一 佐七郎殿御大用御用済迄御詰越、馬廻ニ昇進、表役被仰越候事

八月八日

一 御古役平田河内殿、御筈駕之事

但、御見送り先例今町町口迄ニ候処、此節ニ限り木山口迄罷出候事 委細可考

八月十四日

一 表御役佐七郎殿御昇進之御祝詞申上候事

九月十三日

一 佐七郎殿表役被仰付候付、御朱印御連名ニテ御渡被成候格ニ候

処、此節御支配御方ニ被仰渡候委細之事

十一月八日

一 御賄金十郎殿、肥前鹿島へ御買米御用ニ付、罷越被申候事

十一月十七日

一 佐七郎殿、日田御勤之事

但、西国御郡代三河口□□様御着陣ニ付、御祝詞也

文化八末年

二月七日

一 佐七郎殿、日田御勤之事

但、三河口様方朝鮮人進献之御馬御鷹飼附方之儀御頼ニ付、御返

答方御国方御差図之御旨有之候而之御使者勤也

三月廿六日

一 樋口太郎兵衛殿、佐嘉へ御勤之事

但、迎送之役々引取掛ケ、直ニ御祝詞申上候手数御差図之事

四月九日

一 佐七郎殿、御出博之事

但、御国へ御下向之脇坂様、且御付添之江戸御家老平田隼人殿・大森繁蔵殿博多へ御越、御国へ御渡海ニ付而之御出張り也

四月十九日

一 佐七郎殿、博多方御帰郷之事

五月廿三日

一 奥御役御継祖母御死去被成候由、今日一日御遠慮以被成候事

六月廿二日

一 佐七郎殿、御出博之事

但、御国へ下向之脇坂様博多御昼休ニ付、御出博之事

九月十二日

一 殿様方佐嘉侯へ被進候御鷹ニ居到来ニ付、佐七郎殿御使者勤と

して佐嘉へ御越之事

十月廿五日

一 佐七郎殿、為中御帰国御出立之事

右御越ニ付、献金之内三百両御持越被成候事

十一月十四日

一 殿様御参観ニ付、御両役之内老人御出関之儀被仰越候へ共、佐七

郎殿ハ中帰国跡ニ付、賄役陶山金十郎殿其外役々出関之事

十一月十六日

一 佐七郎殿方奥御役へ書状相達候処、殿様御乗船被遊御延引候

段申来候ニ付、出関之銘々へ今日町飛脚を以引取方御申越之事

文化九申年

正月十五日

一 佐七郎殿呼子^レ揚陸^ニ而昨夜御博着、明十六日爰元御入込之事

正月廿八日

一 右^ニ付、御祝詞之事

三月朔日

一 佐七郎殿、大川筋御見分之事

四月二日

一 御両役、御領中新古堤御見分之事

七月二日

一 表御役御代佐護番作殿御着博^ニ付、御祝詞之事

七月十一日

一 佐七郎殿、御茶屋へ御引移り之事

七月廿六日

一 今日、表御役^ト御佐役御交代之事

八月廿七日

一 表役小島佐七郎殿、今日出立之事

九月四日

一 賄役金十郎殿、町宿使番宇吉方へ引移り之事

九月十五日

一 新賄土田彦蔵殿、御役之祝詞之事

十二月四日

一 御賄役陶山金十郎殿、帰国之事

十二月十八日

一 御本役樋口太郎兵衛殿、久留米御越之事

但、御両領共取扱御用

文化十酉年

六月十六日

一 爰元御両役御交代被為蒙仰候節者御与頭方御月番前広被仰越候御手数^ニ候得共、此節其手数無之、御新役御着博之上、御交代之御祝詞申上候筈也

八月十二日

一 御新役樋口亘理殿、御入込之事

十二月廿三日

一 大浦兵左衛門殿御死去、亘理殿御舅^ニ被為当候、一統御伺申上候事

文化十一戌年

四月五日

一 亘理殿、佐嘉へ御届勤として御越之事

但、御在府^ニ付、御使者無之

但、五月四日肥前様手柳鯉漬到来、御請之返書即日被差出、同六

日御礼状被差立候事

文化十二亥年

二月廿七日

一 御佐役番作殿、去冬御左右有之候処、又々今暫勤越被蒙候事

四月十三日

一 番作殿、御出博之事

但、古以酹庵博多寄船之積りニて出博有之候処、御寄船無之由被

仰越候ニ付、同十六日引取りニ相成候事

九月廿七日

一 御賄役彦藏殿、先般御拝受之米為御受取、今日乃唐津へ被罷越候

事

十月四日

一 奥御新役重松此面殿、昨四日博多御着之旨為知来候事

十月十八日

一 奥巨理殿、今日御餞別御盃之事

十月十九日

一 巨理殿、今日御茶屋へ御引移り之事

十月廿六日

一 御新役重松此面殿、今日御入込之事

十月廿七日

一 御本役新古御交代之事

十一月十日

一 御古役樋口巨理殿、御発駕之事

文化十三子年

正月八日初出会

一 先例奥方三献之祝有之居候へ共、今般此面殿御越ニ付、御取締り

方別而御含立之次第有之、正月初之形ニ準御祝イニ改られ候事

正月十一日

一 賄役黒岩彦一入込之事

二月廿六日

一 御佐役番作殿、日田へ御使者勤御越之事

三川口八藏様、御郡代見習被仰蒙候ニ付而之御使者也

但、門司七左衛門・片山彦八郎并荒木孫次代り座親彦次相附し罷

越之事

三月朔日

一 賄役彦一方へ役之祝詞申述候事

三月十四日

一 御貢米之内、粉囲ニノ村々藏へ御詰被置候へは、今度摺立之上御

国渡りニ被取計候ニ付、御借船見分として黒岩彦一、川下へ罷下

り候事

三月十八日

一 古賄役土田彦藏、帰国之事

四月十二日

一 御本役此面殿、御境御見分之事

五月十四日

一 此面殿、佐嘉へ、届勤として御越之事

但、青木勝右衛門・村山東一郎相附罷越ス

九月十六日

一 新御佐役根々貢殿、博多着之事

十月二日

一 賄役黒岩彦一、上八荷船破船場へ罷下り候事

十月五日

一 新佐役根々貢殿、今日入込之事

十月六日

一 御佐役新古御交代之事

但、御先役番作殿、此節御病中也

十月廿三日

一 古御佐役佐護番作殿、今日帰国之事

十月廿九日

一 貢殿御着、御祝詞之事

文化十四丑年

正月八日

一 此面殿、今一ト代り勤越被仰付越候事

四月十六日

一 殿様御発駕、四月九日御治定被仰付、就而八於下モ、関御初入御祝

詞之役ニ且六十人中、先形御佐役被召連越候処、当節者御本役此

面殿江 殿様御逢被成度と御事被仰越候事

四月廿七日

一 此面殿、下モ、関へ御出駕之事

五月十九日

一 此面殿、今日御帰郷之事

十月八日

一 長崎御奉行御通路之節、奥御役御病氣付、御佐役根々貢殿御助

勤之事

十月十三日

一 此面殿、思召を以中帰国被仰付越候事

十月廿二日

一 此面殿儀爰元へ御越之節、脇坂侯へ御相談ニ被為及候訳ニ付、此

節右之趣被仰越ニ相成、尤御跡役鈴木一之進殿ニ被仰付候儀も

候間、希者農隙之時分引替り帰国可致之旨、又々被仰付越候事

同廿二日

一 御交代御祝詞之事

十一月廿一日

一 貢殿、日田御使者之事

但、塩谷大四郎様御着陣ニ而之御使者勤也

文化十五寅年

正月二日

一 御藏開御規式ニ候処、御佐役御不快、御賄役病氣付、御本役へ緒方又藏方御口祝差上候事

三月六日

一 御佐役根々貢殿、長崎御聞役橋辺次郎右衛門殿就病氣、為御代

御越之儀被蒙仰候事

但、田代町辰右衛門御雇之事

三月八日

一 御佐役、御出立之事

但、御供廻且御宛行等之儀も此所ニ有之

三月九日

一 酒井東村庄屋方願出之加利川筋御普請為見分、御賄役被罷出青

木勝右衛門其外役々見分之事

三月十日

一 加利川筋御普請之儀、破損掛中へ御達之事

三月廿日

一 御本役重松此面殿、御交代ニ被差臨居候得共農事中之事故、郷村

難儀ニてもハ□間敷哉之段御達有之、郷方を訟書付申出候事

六月十三日

一 御佐役根々貢殿、長崎御用相濟今日御帰郷、尤御迎人足川方を

差出御定之賃錢御渡之事

九月十四日

一 此面殿、今日一統へ御餞別御盃候事

九月十六日

一 御同人、御茶屋へ御引移之事

九月十八日

一 奥御新役鈴木一之進殿、今日爰元御入込之事

十月二日

一 一之進殿御着之御祝詞之事

十月廿五日

一 御古役此面殿其外役々御新領受取として今日御出立之事

十一月朔日

一 奥御古役此面殿御留主ニ付、当日祝詞無之

但、去丑五月、御同人赤馬関御留主之例ニ随ひ候也

十二月朔日

一 重松此面殿其外一行中、兩郡を帰着之事

十二月七日

一 御賄役畑島弥次右衛門御返金として、日田江罷越候事

十二月廿五日

一 重松此面殿、今日御国御出立之事

文政二卯年

正月四日

一 為宗門御改、御佐役根々貢殿兩郡御越之事

但、廿五日御帰郷之事

正月十五日

一 鶴獵御差留メニ付、掛鳥鷹鴨ニ相成候事

三月廿一日

一 兩郡出役ニ相成居候御賄役黒岩十郎、御用相濟今日歸郷之事

四月十三日

一 御拜地ニ相成候松浦怡土之儀、是迄之振合至而六ヶ敷有之候ニ

付、体情御國へ、被仰越候筈之処、御状面ニ而ハ貫通致兼可申と之

御評議之上、去冬居込ニ相成候訳ニ依、御賄役黒岩十郎中歸國

有之、今日出立之事

四月廿三日

一 新御佐役立花市郎右衛門殿、今日御入込之事

閏四月朔日

一 新御佐役御着之御祝詞、且御朱印御壁書御読渡之事

但、緒方又蔵捧読

同日

一 古御佐役根メ御氏、町本陣御引移り之事

閏四月十四日

一 御本役鈴木一之進殿、佐嘉届御勤之事

但、十六日御歸着

閏四月廿七日

一 右ニ付、佐嘉御家老方之使者相見候事

同日

一 右使者御饗応有之候ニ付而ハ立歸之御礼有之候筈ニ候得共無其

儀、中宿方町役を以て挨拶有之

閏四月廿八日

一 新古御佐役、御境川伐払之場所御見分之事

六月廿日

一 御賄役畑島矢次右衛門、此元引取如長崎御越之事

七月十三日

一 御賄役次女死去届之事

但、一統其外悔有之

七月十六日

一 御賄役黒岩十郎三女おくま死去之事

但、幼少ニ付、表向悔之手数無之

七月十七日

一 御本役若党久蔵流行之痢病ニ而病死取計方、御手代中へ御頼之

事

八月朔日

一 御佐役立花市郎右衛門殿御用有之、兩郡出張之事

但、御手代役青木勝右衛門・御目附役村山東一郎相附

九月七日

一 立花市郎右衛門殿、御歸郷之事

九月十七日

一 御本役御家内若御内御病死之事

但、附役中其外御礼席之面々、御台所^る御弔詞之事

文政三辰年

正月十八日

一 立花市郎右衛門殿、長崎^る如浜崎御越之事

但、二月十二日御歸郷之事

三月五日

一 古御佐役根^る貢殿御病氣^二付、御歸国御願之事

但、御交代後也

三月八日

一 根^る貢殿、御歸国之事

但、御玄關番^る御附候先形^二候得共、此節^ハ御断之事

同日

一 右^二付、一統其外在町役々、御見送り手数も御断^り二相成

同日

一 右^二付、御本役江御暇乞も無之候事

三月十二日

一 重松此面殿、此元江御取持之山、上江被差上候^二付、為冥加、楠・

杉・松木数拾本田代^二而被成下候事

四月十一日

一 表役立花市郎右衛門殿、中歸国之事

但、緒方順作相附

四月晦日

一 立花市郎右衛門殿、御歸郷之事

但、荒木仁一郎出博

五月六日

一 立花市郎右衛門殿、豆田井堰御見分之事

六月四日

一 相統之御礼等之節^ハ、式日外^ハ御兩役共^二羽織袴^二而御受礼有之有候^処、此節^る肩衣御着と相成候事

六月九日

一 下村田根付後、度々之洪水^二而甚心遣有之候^二付、御佐役御廻在之事

六月十六日

一 兩郡諸運上取調として、黒岩十郎出郡之事

六月廿四日

一 御兩役、水腐田御見分之事

七月九日

一 黒岩十郎、兩郡^る歸着之事

九月朔日

一 日田御代官所^る御用御召^二付、立花市郎右衛門殿御越之事

但、六日御歸郷

九月十日

一 立花市郎右衛門殿、御出関之事

但、九月廿九日御帰着

十一月七日

一 新御本役杉村司殿、御入込之事

十二月十六日

一 一之進殿、御帰国之事

十二月廿四日

一 御賄役黒岩十郎殿、一生大小姓之事

同日

一 右二付、一統羽織袴ニ而祝詞、在町役々ハ明日出掛リニ祝詞申述

候事

文政四巳年

正月廿二日

一 御国御支配御出関御用ニ付、御賄役黒岩十郎出関之事

但、御佐役御病氣ニ付、同人出関有之候事

二月八日

一 黒岩十郎、下モ関合帰郷之事

二月廿八日

一 御佐役立花市郎右衛門殿、在勤中御馬廻格表役被蒙 仰候事

三月五日

一 右二付、昇進御祝詞之事

三月廿六日

一 御本役杉村司殿、御巡在・宗門御改相兼両郡御越之事

但、立花市郎右衛門殿、御馬廻御昇進ニ付、御見送無之

四月九日

一 杉村司殿、両郡方御帰郷之事

四月十二日

一 以酌庵帰京博多浄天寺江寄泊ニ付、御佐役御出博之筈之処、御出

関差合候ニ付、御賄黒岩十郎出博之事

但、五月十二日帰郷

四月十八日

一 殿様御下向ニ付、表役立花市郎右衛門殿御目見之面々御召連、御

出関之事

但、供方為差配、御玄関番御雇六十人格梁井武一郎相附

尤、御目見之面々ハ、原源五郎・梁井武一郎・梁井次郎作也

五月九日

一 御出関ニ相成居候表御役御目見之面々御召連、御帰郷之事

文政五年年

正月十九日

一 紅毛人檢使旅宿江表御役御勤之事

閏正月二日

一 表御役立花市郎右衛門殿、両郡宗門御改として御越之事

二月十三日

一 賄役陶山只八郎、兩郡方歸郷之事

二月廿八日

一 賄役黒岩十郎、今日御茶屋へ引移之事

三月五日

一 新御賄役内野初右衛門、爰元入込之事

三月十日

一 右同人、御役之祝詞有之候事

四月六日

一 右御賄役黒岩十郎歸国、爰元出立之事

五月十七日

一 表御役立花市郎右衛門殿、御使者勤として日田江御越、爰許御出

立之事

但、五月廿二日御歸郷有之、爰許御出立方御歸着迄之終始書留有

之

九月七日

一 表御役立花市郎右衛門殿、御用ニ付下関へ御出張、爰元御出立之

事

但、御家老田中所左衛門様方御用之品有之、御出関被成、十月

十六日御歸着

九月廿二日

一 御賄役内野初右衛門、一生大小姓昇進之事

但、十一月朔日昇進之御祝詞有之

十二月十五日

一 奥御役高瀬主殿、御入込之事

但、福岡御勤供立も爰ニ有之、十二月廿三日御着之御祝詞有之

文政六未年

七月廿九日

一 奥御古役杉村司殿、爰元御出立、御歸国之事

文政七申年

正月廿九日

一 表御役立花市郎右衛門、兩郡宗門改として爰元出立之事

但、二月十九日御歸郷之事

三月廿九日

一 表御役立花市郎右衛門、大川欠広メ御熟談之為佐嘉江御越之事

四月廿二日

一 御本役高瀬主殿、佐嘉御屈勤として、爰元出立之事

但、六月四日肥前守様方粕漬之鱈一桶・手柳壺ツ送来候事

四月廿九日

一 表御役立花市郎右衛門、下モ村水害除為御熟談、久留米へ御越之

事

九月十日

一 表御役立花市郎右衛門殿 殿様御下向ニ付、御目見之面々被召
連御出関之事

十月廿九日

一 新御佐役古川権右衛門殿、爰元許入込之事

但、十一月七日御役御引受有之

十一月十四日

一 右御同人、御着之御祝詞之事

文政八酉年

三月廿八日

一 古表御役立花市郎右衛門殿御帰国、爰元出立之事

三月晦日

一 奥御役高瀬主殿、御茶屋江御引移り之事

四月七日

一 奥御役吉川弾九郎殿福岡御勤、且爰元御入込被御供廻手当之事

四月十一日

一 右御同人、爰元入込之事

但、四月廿二日御着之御祝詞有之

四月廿四日

一 御佐役古川権右衛門殿、日田御郡代塩谷大四郎様御奥母様御死

去ニ付、為御使者日田江御越之事

四月廿八日

一 右同断ニ付、日田御陣屋ニ而之振合記有之
五月三日

一 大勘定山下覚次郎殿、爰元許入込之事

但、五月七日爰元御出立、人馬等可考事

六月十一日

一 御本役高瀬主殿、爰元御出立御帰国ニ付、御供廻手当之事

八月十三日

一 浜崎在勤御勘定手代畑島矢次右衛門病死ニ付、御賄役内野初右

衛門出郡之事

八月廿一日

一 御佐役古川権右衛門殿川方御用ニ付、御使者として久留米江御

越之事

文政九戌年

三月十四日

一 御本役吉川弾九郎殿・御目付浅野種右衛門殿兩郡御用相済、御帰

郷之事

四月七日

一 新御賄役倉田万兵衛殿、爰元入込之事

四月廿一日

一 右御同人御役之御祝詞之事

九月十三日

一 御佐役古川権右衛門殿、御目見之面々御召連、御出関之事
十月廿五日

文政十一子年
二月廿八日

一 新御佐役浅野種右衛門殿、爰元爰元入込之事
十二月十日

一 御佐役浅野種右衛門殿 水天宮御勸請ニ付、久留米へ御使者勤
之事

一 右御同人、御着之御祝詞之事
十一月十八日

同日
一 御本役吉川弾九郎殿御昇格被蒙仰候、御祝詞之事

一 御本役吉川弾九郎殿臨時兩郡御廻在、御出立之事

文政十亥年

正月十五日

一 御本役御病氣、御佐役御老入御出席、御壁書御読渡之事

一 御本役田島所左衛門殿、爰元許入込之事
五月十一日

二月十三日

一 御佐役浅野種右衛門殿兩郡宗判、爰元御出立之事

一 右御同人、御着之御祝詞之事
八月十四日

四月朔日

一 古御佐役古川権右衛門殿、爰元御出立之事

一 御佐役浅野種右衛門殿御内、病死之事
十月三日

四月三日

一 御佐役浅野種右衛門殿御目見之面々御召連、御出関之事

但、四月十六日御帰郷

文政十二年

五月三日

一 右御同人川方御用ニ付、久留米江御越之事

二月
一 御本役田島所左衛門殿、兩郡御越之事

閏六月七日

一 御本役吉川弾九郎殿御跡役相極候段御達ニ付、御祝詞之事

(朱書)
十二月廿日
一 御左役浅野種右衛門殿、就御用御帰国之処
(不
明)

文政十三寅年

天保と改元

六月五日

一 御本役田島所左衛門殿、御茶屋引移之事

六月十一日

一 新奥御役平田生駒殿、爰許入込之事

但、古御本役・御佐役御病氣二付、御出席無之

六月十五日

一 右御同人御着之御祝詞之事

九月十日

一 右同断、佐嘉御勤之事

九月十九日

一 古奥役御家来病死之事

十一月廿一日

一 御本役差控御伺書、御国元へ御差越之処差返二相成候事

十一月廿三日

一 御佐役浅野種右衛門殿、勤中御馬廻り御昇進之事

但、十一月廿八日祝詞有之

十二月十七日

一 御本役平田生駒殿、奥御役被差免御帰国之事

天保二卯年

二月廿三日

一 表御役浅野種右衛門殿、両郡宗門御改御出張之事

三月廿三日

一 御本役中御帰国之儀、被仰付越候事

四月十二日

一 新御賄役吉村市右衛門殿、爰許入込之事

四月十二日

一 以酌庵寄博二付、新御賄役出博之事

但、四月十七日帰郷、迎人馬之事

五月廿六日

一 表御役末孫多次郎殿、病死之事

六月十二日

一 御本役中御帰国二付、御領中へ被仰渡候事

六月十三日

一 御本役田島所左衛門殿中帰国、爰元御出立之事

八月廿六日

一 御賄役倉田万兵衛殿、(同)帰郷之事

十一月三日

一 御賄役吉村市右衛門殿、御貢米船難船二付、平戸江被罷越候事

天保三辰年

正月十日

一 新御佐役橋倉勝左衛門殿、爰元入込之事

御古役表役ニ付賄役誘引之先形ニ候処病氣ニ付、手代役大石五左衛門誘引いたス

但、十二日御交代

二月十一日

一 右御同人兩郡宗門御改、御出張之事

但、三月九日御帰郷之事

五月六日

一 御本役田中善左衛門殿、御役御引受之事

但、御古役田島所左衛門殿、中御帰国之儘御国許ニ而御役御免ニ相成り居、御古役無之事

五月十日

一 右同断、御着之御祝詞之事

六月三日

一 表御役浅野種右衛門殿御用ニ付、登坂之事

但、七月廿二日御帰郷

六月五日

一 御佐役橋倉勝左衛門殿臨時御用ニ付、兩郡御出張之事

八月廿一日

一 右御同人、日田江御越之事

但、八月廿五日御帰郷

十月十二日

一 表御役浅野種右衛門殿、御実兄之忌掛之事

十二月十日

一 御本役田中善左衛門殿、佐嘉御勤之事

十二月廿二日

一 表御役浅野種右衛門殿爰許御出立、日田御勤之事

閏十二月廿二日

一 右御同人御用ニ付御出府、爰元御出立之事

天保四巳年

二月六日

一 御本役田中善左衛門殿兩郡宗判御改、出郡之事

五月六日

一 御佐役橋倉勝左衛門殿為御使者、久留米へ御越之事

但、久留米御領売菓売弘方、彼方許容ニ相成候御使者也

五月廿四日

一 右御同人 若殿様御下向ニ付、下毛 関江御出張之事

五月廿九日

一 御賄役吉村市右衛門殿、爰許出立帰国之事

六月十一日

一 御賄役齐藤郡兵衛殿、御役之祝詞之事

六月十四日

一 若殿様朝鮮御役向為御見分、御国許へ御下向ニ付、御佐役下毛 関

江御出張之処、御目見相濟帰郷之事

六月廿日

一 表御役浅野種右衛門殿中御帰国之処、今日爰元御入込之事

七月晦日

一 右御同人、日田江御出張之事

天保五年

二月六日

一 御佐役橋倉勝左衛門殿両郡宗門改として、今日爰元御出立之事

三月六日

一 御同人、両郡より今日爰許御帰郷之事

六月十九日

一 表御役浅野種右衛門殿、依御頼表御役御免之儀、從御国被仰付

候事

同廿三日

一 御同人表御役者御免被承候得共、多年御居込御功者二付、御滞留

中御会席に御出席被成候様、御評決之事

同廿五日

一 御同人近々御帰国二付、隣国二御暇乞之御状被遣候筈二候事

九月廿六日

一 御本役田中善左衛門殿、御国許御親類内御故障筋有之、御差控

御伺之処、其儀二不及と之儀御達有之、役々江其段御達之事

十月六日

一 長崎御代官高木作右衛門殿、怡土郡加布里村為穂檢出張、浜崎

御通行二付御佐役橋倉勝左衛門殿浜崎御両郡二付、玄関番門司

金十郎・佑筆役草野忠右衛門相附罷越ス

十月七日

一 勝左衛門殿、今曉爰許御出立之事

同十九日

一 表御古役浅野種右衛門殿為御帰国、今日爰許御出立、如博多御

越之事

同日

一 右二付、玄関番前川健吾相附罷越ス

天保六乙未年

三月廿九日

一 御本役田中善左衛門殿、下モ関御越之事

但、文化十四丑年重松之例在之

四月十七日

一 御佐役、小松宮御参詣之事

但、先例者無之、就右かこ夫弁当役上郷頼遣在之

四月十八日

一 御本役、下関御帰着之事

六月廿一日

一 御本役田中善左衛門殿、中御帰国御発駕之事

九月二日

一 新御佐役山崎此次郎殿、入込之事

十二月十一日

一 御佐役此次郎殿母方之御祖母於御国死去ニ付、役々御悔之事

十二月廿七日

一 新奥御役小河三四郎殿今日入込之事

但、古奥田中善左衛門殿、中御帰国御留主ニ付、折柄御郡佐役立

花氏相見居、近例之通御玄関板ノ間迄御出迎在之

十二月朔日

一 御本役御着之祝詞御受被成候事

十二月十二日

一 御本役於御国許御親類内御慎ニ被仰付候ニ付、御差控伺之事

但、隣国御差合御書達之儀者平日之通御□合ニ相成、諸方御用状

二者御差控伺中と御名之肩ニ書才御押印者無之

天保七丙申年

正月十日

一 御郡佐役表役席立花市郎右衛門殿、御佐役山崎此次郎殿、松浦

怡土両郡宗門改外御用向ニ付、今日爰元御出立之事

但、手代役村山勘吾・青木啓次郎・佑筆役梯源七郎・玄関番前川健

吾、且使番小人相附罷越ス

正月十二日

一 御本役小河三四郎殿御親類内御故障ニ付、御差控願書被差越置

候処、不及其儀段御達願書差返ニ相成候ニ付、御扶持人中御取次

を以御見舞申上候事

正月廿二日

一 立花市郎右衛門殿松浦・怡土御用相濟、今日如爰許御帰郷ニ相成

候付、御扶持人中羽織袴着御門前迄出迎いたス

二月三日

一 御佐役山崎此次郎殿、松浦・怡土御用相濟今日御帰郷ニ付、御扶

持人以下在町役々、昌元寺町口迄出迎いたス

但、相附候役々帰郷いたす

二月五日

一 古御佐役橋倉勝左衛門殿今日御帰国如博多御出立ニ付、御扶持

人中以下在町役々、途中迄御見送として罷出候事

二月十七日

一 賄役齊藤郡兵衛病氣ニ付、御役御免御帰国被仰付、代り之人被差

越方願書差出、態々飛脚を以如博多被差越候事

同日

一 齊藤郡兵衛養不叶病死ニ付、宝曆八寅七月賄役吉野金次郎病死

之例ニ準シ、諸役手当賄方御算用御取結ニ不至、諸御帳面封印等

夫々御取計之事

同日

一 右二付、御扶持人中在町役之帳面ニ記悔申述、昌元寺裏山ニ葬送
被仰付

二月廿二日

一 立花市郎右衛門殿御用相濟、為御帰国今日爰許御出立ニ付、御扶
持人中御門前迄見送いたす

同日

一 筑前博多大浜町善六と申盗人召捕候付、田代町恵助・与市、瓜生
野町清助、宮浦東村三之助、非人助蔵御吟味之事

五月廿七日

一 新御賄役団沢広右衛門殿、今日爰許入込之事

但、御扶持人中在町役々、御門前へ罷出候事

同月廿八日

一 広右衛門殿、今日御役引請之事

六月十五日

一 新賄役、役之為祝詞、御扶持人中在町役々罷出、祝詞申述候事

但、箱看差出来之先例ニ候処、天明八申年之通、御改革ニ而其儀
無之

六月廿二日

一 先賄役齊藤郡兵衛家内、為帰国今曉爰元出立、如博多被罷越候
事

七月廿日

一 下モ村皆廢田見分として、賄役団沢広右衛門廻村之事
八月廿一日

一 御佐役山崎此次郎殿御内方御病氣之処御養生不被相叶、夜前御
卒去之事

但、葬式之儀、明廿二日御取行相成、昌元寺裏山ニ葬候事

九月廿三日

一 御貢米船見分として、御賄団沢広右衛門殿肥前諸富江被罷越候
事

但、留役荒木仁一郎とも罷越候事

十二月十六日

一 御膳米仕出ニ付、御本役水屋浜へ御出張之事

但、賄役同断、御佐役病氣ニ付、其儀無之